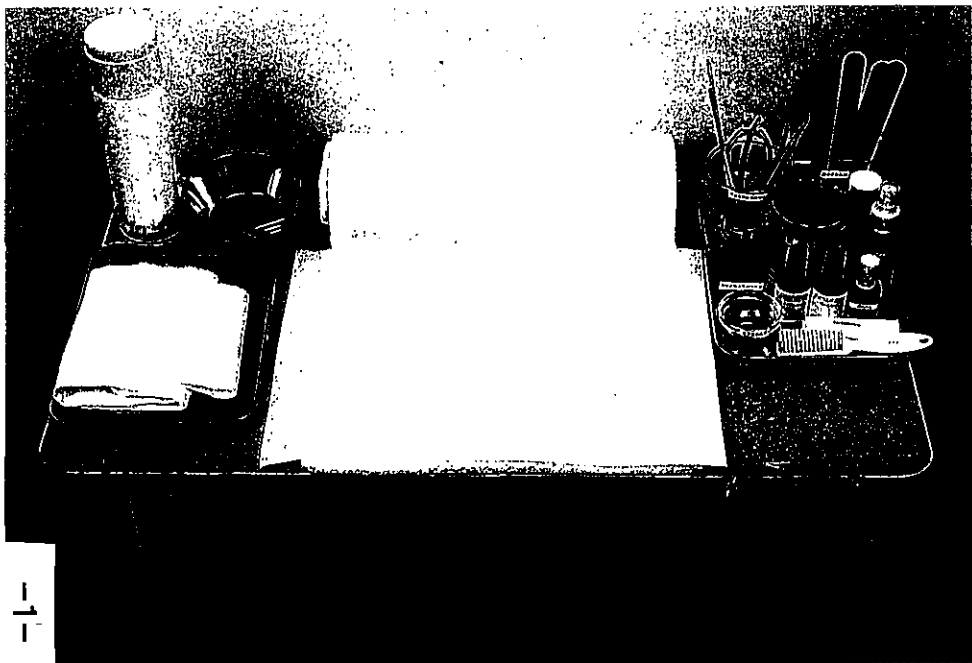


ネイルサロンの現状について
(NPO法人 日本ネイリスト協会)

■プレマニキュア

●基本的なテーブルセッティング



1
1



ネイルケアに必要な道具を準備し、衛生的に技術者の利き手側にセッティングします。

また、内容物を明確にするために、品名を表記します。

●ネイルケアの用具用材



エメリーボード

ナチュラルネイルの長さや形を整えるためのヤスリ。板状の面にサンドペーパーを貼り付けたもの。



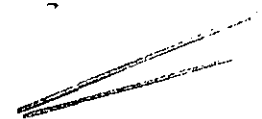
フィンガーボール

キューティクルを柔らかくするためのお湯を入れておく器。



ネイルブラシ

油分や汚れを除去するためのブラシ。



ウッドスティック

コットンを巻き付け、キューティクルプッシュやカラーリングの修正等に使用する様。



メタルプッシャー

キューティクルのプッシュアップに使用する。



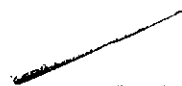
キューティクルニッパー

ルースキューティクルや、さざくれ等を除去し、キューティクル周りの角質を整える。



水入れ

プッシュアップやガーゼクリーンの際に使用する水を入れる。



ガーゼ

ネイルプレート、キューティクルをクリーンアップするために使用する。



ペーパータオル

ダスト除去できる使い捨てペーパー。



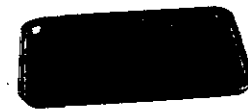
タオル

テーブル上を衛生的に保つために使用したり、アームレスト、キャッチタオルなど、多目的に使用する。



コットン

手指消毒やポリッシュオフに使用する脱脂綿。



トレイ

ネイル用品を置くもの。道具類は、テーブルに直置きしない。



エタノール

手指、器具、その他消毒全般に使用する。



液体ソープ

フィンガーボールの中に入れて、使用する。液体石鹸。



キューティクルリムーバー
または、キューティクルクリーム

キューティクルリムーバーは、アルカリ水溶液。キューティクルクリームは保湿力がある。ともにキューティクルを柔らかくする作用がある。



キューティクルオイル

植物性油分でキューティクルなどの乾燥を防ぐために使用する。

ウェットステリライザー

ガラス製やステンレス製の容器に消毒液を入れて使用する。器具類の消毒状態を維持する器。



ウェットステリライザーに入れるもの

キューティクルニッパー、メタルプッシャー、オレンジウッドスティック、ネイルニッパー等。



アームレスト

腕を置くもの。タオル等を使用してもよい。

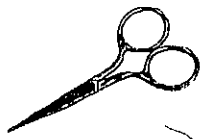
●その他の道具類

2-



ネイルニッパー

ナチュラルネイルの長さをカットするのに使用する爪切り。



シザー

シルク等を切るハサミ。



ツイーザー

ネイル用品を挟むピンセット。



ブラシ

ダストを払うブラシ。



ファイル立て

ファイルを入れておく容器。



タオル用トレイ

ガーゼやキャッチタオルを置くもの。

●カラーリング用品



カラーポリッシュ

ポリッシュには、シアー、パール、ソリッド、ラメ等、様々な質感のものがある。



ベースコート

ポリッシュを塗る前に使用する。ベースコートの中には様々な栄養成分を加えたもの等もある。ベーストップ兼用のものもある。



トップコート

カラーの持ちを良くするために塗布する。特に速乾性を重視したもの、よりつややかなもの、逆につやを消したのもの等がある。



ポリッシュリムーバー

カラーポリッシュ等を除去するときに使用する。ノンアセトンのもや、保湿効果、トリートメント効果のあるものもある。爪の油分等を拭き取る際にも使用する。

ネイルケアの用具用材

| | | |
|---|----------------|---------------|
| | エメリーボード | キューティクルオイル |
| 0 | フィンガーボール | ○ ウェットステリライザー |
| 0 | ネイルブラシ | 0 アームレスト |
| 0 | ウッドスティック | ネイルニッパー |
| 0 | メタルプッシャー | シザー |
| 0 | キューティクルニッパー | ツイーザー |
| 0 | 水入れ | ブラシ |
| 0 | ガーゼ | タオル用トレイ |
| 0 | ペーパータオル | 0 ファイル立て |
| 0 | タオル | 0 カラーポリッシュ |
| 0 | コットン | 9 ベースコート |
| 0 | トレイ | 0 トップコート |
| 0 | エタノール | 0 ポリッシュリムーバー |
| 0 | 液体ソープ | |
| 0 | キューティクルリムーバー | |
| 0 | またはキューティクルクリーム | |

ネイルサロンの主なメニュー

- ネイルケア
- カラーリング
- ネイルアート
- ジェルスカルプチュアネイル
- ジェルフローター
- フィルイン
- アクリルスカルプチュアネイル
- ネイルリペア
- フットケア

■ ネイルサービスに関する確認事項 ■

【施術前の注意点】

- 爪の病気、感染性の疾患がない
- 手指に皮膚疾患がない
- ネイル化粧品等でカブレたことがない

【施術後の注意点】

- 爪に色調変化や、その他の異常、違和感があった場合は、必ずご連絡ください
(状況などを伺い、場合によっては専門医の受診をお願いすることもあります)

※人工爪を装着された場合には、下記の事項を必ず確認・厳守してください。

【人工爪装着後の注意点】

- 数週間後に必ずメンテナンスのためにご来店ください
- 長時間の入浴等で、指先が長時間にわたり水に濡れていると、人工爪がとれる原因となるため避けてください
- 爪に亀裂やひび割れ、リフティング(人工爪の一部が外れた場合)等が起こった場合は、すぐにご来店ください

【人工爪の除去について】

- 無理な人工爪の除去は、自爪にダメージを与えるため、必ずご来店ください

----- (キリトリ) -----

サロン名 _____

年 月 日

お名前 _____

住所 _____

TEL _____

※個人情報の取り扱いについて

お預かりします氏名、住所などの個人情報は、別段の定めのある場合を除きお客様のご承諾なく、第三者への開示・提供はいたしません。

日本のネイル産業の健全な発展をめざして

日本ネイリスト協会は、日本における健全なネイル産業の発展を目的として、1985年に設立されました。ネイルに関する技能研修や資格認定などを通じて、ネイルの普及とネイリストの技能向上に努め、2006年4月には、それまでの20年の歴史を礎に、「特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ネイリスト協会」として新たなスタートを切りました。

今や、ネイルはトータルビューティの一部として一般社会の関心も高く、国内のネイルマーケットが拡大するとともに、国際的にも日本のネイルは認知されています。

その成果をさらに拡大していくために、広く社会から信頼される組織として一致協力し、より確かな技術・製品の開発、消費者の保護、優秀なネイリストの育成及び社会的地位向上、美容業界・エステ業界など関連する分野との提携、海外との交流などに積極的に取り組んでいます。

個人会員数

| | |
|-----------|---------|
| 個人正会員 | 3,363名 |
| 個人一般会員 | 10,248名 |
| スチューデント会員 | 17,535名 |
| 合計 | 31,146名 |

法人会員数

| | |
|--------|------|
| 法人正会員 | 380社 |
| 法人賛助会員 | 38社 |
| 合計 | 418社 |

認定校数

| | |
|----------|------|
| ネイル専門校 | 142校 |
| 理容美容養成学校 | 143校 |
| ネイル併設校 | 27校 |
| 合計 | 312校 |

平成22年3月 現在

| | |
|-------|--------|
| 認定講師数 | 1,339名 |
|-------|--------|

| | |
|----------|------|
| 登録ネイルサロン | 505店 |
|----------|------|

■主な活動内容

認定システム

ネイル技術の水準を高めるために、「認定校」「認定講師」「登録ネイルサロン」などの認定システムを設けています。

セミナー

基本技術から応用技術、検定試験対策、最新の技術トレンドなど、ネイルに関する技術・知識のセミナーを各地で開催しています。

検定試験

正しい技術と知識の向上のために「ネイリスト技能検定試験」の運営支援や、「ジェルネイル技能検定試験」を実施しています。

パブリケーション

ネイル技術や理論のテキスト、検定試験対策DVD 教材など、各種教育教材を開発、発行しています。

イベント・フォーラム

世界最大級のネイルイベント「ネイルエキスポ」や西日本最大の「アジアネイルフェスティバル」などのイベントを主催しています。

パブリシティ

会報誌「Natiful」やポータルサイト「nail.jp(ネイルジェイピー)」など、メディアを活用した広報活動を展開しています。

コンペティション

ネイル技術や創造性を競うコンペティションを開催・後援し、ネイリストの技術とモチベーションの向上を図っています。

国際交流

世界各国のネイル産業と情報交換を行い、海外研修ツアーなどを企画して交流を推進しています。

ネイルサロンの衛生管理に関する JNA の取り組み

①「ネイルサロンにおける衛生管理自主基準」制定

衛生管理のあり方を、具体的な指針にしてサロン・技術者に提示するために「衛生管理自主基準」の策定を推進し、各界の有識者で構成される第三者機関による「ネイル産業審議会」の認証を得て、『ネイルサロンにおける衛生管理自主基準』として制定しました。

この基準がめざすのは、お客さまにとって安全で安心なサロン環境の構築です。

■2009年12月25日制定 ■2010年2月発表

②「ネイルサロン衛生管理マニュアル」発刊

「ネイルサロンにおける衛生管理自主基準」への理解を深め、ネイルサロンの現場で十分に活用されるよう、衛生管理と消毒方法について具体的な解説を提示するなど、現在のネイルサロンの実情に合わせた内容にまとめ上げた「ネイルサロン衛生管理マニュアル」を発刊します。

また、本マニュアルは「ネイルサロンにおける衛生管理自主基準」を正しく普及するための JNA 認定「ネイルサロン衛生管理士」の資格取得講習のテキストに対応しています。

■発行:2010年4月1日 ■体裁:A4サイズ、40P ■価格:3,000円(予価)

③「ネイルサロン衛生管理士」資格制度

衛生管理に関する正しい知識の啓発普及活動の一環として、「ネイルサロン衛生管理士」資格制度を設けます。「衛生管理マニュアル」による講習を実施し、修得試験に合格した方に JNA 認定「ネイルサロン衛生管理士」資格を付与する制度です。この制度によって、ネイルサロンの正しい衛生管理が普及し、社会的信頼を得る質の高いネイルサービスが提供されること目的としており、本資格はプロとしての自覚と高い意識をもつネイリストに必須の個人資格といえます。

また、JNA では本資格を有する者を各サロンの衛生管理責任者として配置することを推奨し、これを「JNA 認定ネイルサロン」認定条件のひとつと位置づけています。

■第1回資格取得講習 4月19日(東京)、5月11日(大阪)

④「JNA 認定ネイルサロン」制度

JNA では、お客様が安心して利用できるネイルサロンを登録し紹介する制度として、これまで「JNA 登録ネイルサロン制度」を設けておりましたが、この度「ネイルサロンにおける衛生管理自主基準」の制定に伴い、新たに、より高い基準をクリアしたサロンを認定する「認定ネイルサロン制度」を設け、お客様が安全安心に利用できるネイルサロンを示す基準として普及を目指します。

■認定ネイルサロンの条件

- ①衛生自主基準を遵守する
- ②衛生管理者の配置(資格は「ネイルサロン衛生管理士」取得者とする)
- ③技術管理者の配置(10店舗に1名以上の JNA 認定講師を登録し、
且つ1店舗に1名ネイリスト技能検定試験1級取得者を登録する)
- ④法令順守(美容関連法規、個人情報保護法、商取引関連法 等)

2010年 春期

ネイリスト技能検定試験

試験要項



一般財団法人
日本ネイリスト検定試験センター
<http://www.nail-kentei.or.jp>

※検定試験センターでは試験に関するご質問は一切お受けしません。この要項を熟読してください。
※ホームページ上に検定試験Q&Aを掲載しています。

試験概要

試験日 1級 4月18日(日) 2級 4月17日(土) 3級 4月25日(日)

受験資格
 1級受験者……2級取得者のみ。
 ※申込書に2級の合格認定番号(合格証書の左下に記載)を必ず記入して下さい。
 2級受験者……3級取得者のみ。
 ※申込書に3級の合格認定番号(合格証書の左下に記載)を必ず記入して下さい。
 3級受験者……受験時に義務教育を修了している方であれば、どなたでも受験できます。
 ※二つ以上の級を同時に受験することはできません。 ※各級とも、試験当日、実技試験のモデルが必要となります。

筆記試験免除
 2009年秋期試験において「筆記のみ合格」の方は、2010年春期試験で同級を受験される場合のみ、筆記試験が免除されます。
 筆記試験免除に該当する方は、受験申込みをする際には、必ず申込書の筆記免除記入欄に2009年秋期の受験番号を記入して下さい。
 記入していない場合は、筆記免除は適用されません。

試験の科目及び程度
 検定は1級を最高レベルとし、1、2、3級の3段階に分かれています。
 1級: トップレベルのネイリストとして必要とされる総合的な技能及び知識。
 2級: サロンワークで通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する技能及び知識。
 3級: ネイリストベーシックのマスター。ネイルケアに関する基本的な技能及び知識。

合格ライン
 合格基準は80点(筆記・実技とも:100点満点)以上と定めています。

今回より筆記用具忘れは減点対象となります。

試験当日は受験票を必ず持参して下さい。受験票忘れや、1級・2級の受験票に証明写真が貼付されていない場合は、減点対象となります。

試験日程及びタイムスケジュール

受付は行いませんので、事前審査開始迄に指定の受験番号の席にモデルとともに着席し、先にテーブルセッティングを済ませて下さい。出欠確認は事前審査とあわせて行います。
 ※モデルの方は実技審査終了後にお帰り下さい。

| 1級 2010年 4月18日(日) | 2級 2010年 4月17日(土) | 3級 2010年 4月25日(日) |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | 9:10-9:45 開場 | 午前の部 9:00 開場 |
| | 9:45-10:00 出欠確認・事前審査 | 9:45-10:00 出欠確認・事前審査 |
| | 10:00-10:35 実技試験・前半(35分) | 10:00-11:00 実技試験(60分) |
| | 10:38-11:33 実技試験・後半(55分) | |
| 11:30 開場 | | 11:00-11:40 実技審査 |
| | 11:33-12:20 実技審査 | 11:40-11:55 筆記試験準備(道具の片付け時間含む) |
| 12:15-12:30 出欠確認・事前審査 | 12:20-12:45 筆記試験準備(道具の片付け時間含む) | 11:55-12:25 筆記試験(30分) |
| 12:30-15:00 実技試験(150分) | 12:45-13:20 筆記試験(35分) | 12:25 終了 |
| | 13:20 終了 | |
| | 13:35 開場 | 午後の部 13:00 開場 |
| | 14:10-14:25 出欠確認・事前審査 | 13:45-14:00 出欠確認・事前審査 |
| | 14:25-15:00 実技試験・前半(35分) | 14:00-15:00 実技試験(60分) |
| 15:00-16:00 実技審査 | 15:03-15:58 実技試験・後半(55分) | 15:00-15:40 実技審査 |
| | | 15:40-15:55 筆記試験準備(道具の片付け時間含む) |
| 16:00-16:25 筆記試験準備(道具の片付け時間含む) | 15:58-16:45 実技審査 | 15:55-16:25 筆記試験(30分) |
| 16:25-17:10 筆記試験(45分) | 16:45-17:10 筆記試験準備(道具の片付け時間含む) | 16:25 終了 |
| 17:10 終了 | 17:10-17:45 筆記試験(35分) | |
| | 17:45 終了 | |

※上記スケジュールはモデルケースです。正式なスケジュールは受験票(3月26日(金)までに郵送)にてお知らせします。
 また、2級・3級は2つの時間帯(午前の部/午後の部)を設けておりますが、受験者の希望、変更はできませんのでご了承下さい。

| | | |
|---------------|--|--|
| 申込期間 | 2010年 2月1日(月)～2月26日(金) <締切当日払込有効> ※詳しいスケジュールはP11をご参照下さい。 | |
| 受験料 | 1級 10,000円 2級 8,000円 3級 6,000円 | ※消費税込 ※申込後の取消、受験級及び会場等の変更は一切お受けできません。 ※受験料は試験施行中止以外は理由のいかんに関わらず、お返しいたしません。 ※筆記試験免除受験者に対し、割引・返金はありません。 |
| 試験会場 | 1級/東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・金沢・広島 2級/札幌・盛岡・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・広島・高松・福岡・沖縄 3級/札幌・盛岡・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・広島・高松・福岡・沖縄 | |
| 申し込み方法 | この試験要項に付けられた郵便振込用紙(払込取扱票)に必要な事項を全て記入し、受験料を郵便局の窓口またはATMにてお振込み下さい。 (郵便局以外の金融機関・コンビニエンスストアでの振り込み、及び現金書留等での送付は不可) | |

試験内容

合格ライン:実技、筆記ともに100点満点で80点以上合格。

実技試験 事前審査(15分) テーブルセッティング&消毒管理、モデルの爪の状態
所要時間(60分) ネイルケア、カラーリング

筆記試験 所要時間(30分)
出題内容:衛生と消毒/爪の構造(皮膚科学)/爪の病気とトラブル(爪の生理解剖学)/ネイルケアの手順
※実技試験のみ、あるいは筆記試験のみの受験はできません。

実技試験・規定の詳細と注意事項

モデルの爪について ※モデルの方は16歳以上に限ります。(男女不問)

- モデルの爪、及び皮膚(手指に限定)に疾患、特に感染症が認められる場合や、妊娠中の方はモデルになれません。
- モデルの爪はナチュラルネイルをベースとするが、イクステンションとリペアは、合わせて2本まで可。
(ただしあくまでも、ナチュラルネイルの色と形に合わせて対応すること)
- 実技試験1週間前からファイル及びキューティクルクリーンなどの手入れをしないこと。
- カラーポリッシュは真赤(パール、メタリック入りは不可)。試験前日までに両手に塗布しておくこと。

| | | |
|-----------|-----------------|--|
| 事前審査(15分) | | <p><テーブルセッティング&消毒管理>・・・P6参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具、用材のセッティングと品名ラベルの表示について ・衛生面における配慮 ・ウェットステリライザーの状態 <p><モデルの爪></p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ポリッシュの塗布の状態 ・イクステンション、リペアの有無。規定の2本以内であるかどうか。(該当する場合は申告すること) ・フリーエッジの形、キューティクルの手入れの状態 ・爪および皮膚(手指に限定)の状態 |
| 実技(60分) | ネイルケア 両手10本 | <p>手指消毒から始める。ポリッシュオフ、ファイル、ブラシグウン、キューティクルクリーンまで行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①手指消毒は指先、指間にいたるまでしっかりと清拭する。 ②ポリッシュオフはサイドラインまでしっかりと行う。 ③カットスタイルは<u>ラウンド</u>。 ④フリーエッジは長い場合でも5mm程度までとする。 ⑤ナチュラルネイルのファイルは、エメリーボードを使用すること。 ⑥仕上げ用パフ使用可。 ⑦メタルプッシャー使用可。 <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーンプッシャー ・セラミックプッシャー ・ネイルマシン ・シャーマー(革製)パフ ・オイル ・その他規定外の用具、用材 |
| | カラーリング 両手10本 | <p>必ず、ベースコート、カラーポリッシュ、トップコートまで仕上げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①リッジフィラー使用可。 ②カラーポリッシュは真赤(パール、メタリック入りは不可)。 ③カラーポリッシュは2度塗りする。 ④裏面もカラーリングする。エッジのみでも可。 ⑤仕上げはトップコートまでとする。 <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オイル ・その他規定外の用具、用材 |

3級試験に合格していないと2級試験を受験できません。

2級

試験日 2010年4月17日(土)

試験会場

札幌・盛岡・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・広島・高松・福岡・沖縄

※タイムスケジュールの詳細はP2を参照

試験内容

合格ライン:実技、筆記ともに100点満点で80点以上合格。

2級は、3級試験に合格していないと受験できません。

実技試験 事前審査(15分) テーブルセッティング&消毒管理、モデルの爪の状態
 前半(35分) ネイルケア
 後半(55分) チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート

筆記試験 所要時間(35分)
 出題内容:衛生と消毒/爪の構造(皮膚科学)/爪の病気とトラブル(爪の生理解剖学)/ネイルケアの手順/リベアの種類及びチップ&ラップの手順/その他実践的施術全般/プロフェッショナリズム等
 ※実技試験のみ、あるいは筆記試験のみの受験はできません。

試験開始前の準備事項

モデルの爪について ※モデルの方は16歳以上に限ります。(男女不問)

- モデルの爪、及び皮膚(手指に限定)に疾患、特に感染症が認められる場合や、妊娠中の方はモデルになれません。
- モデルの爪はナチュラルネイルをベースとするが、イクステンションとリベアは、合わせて2本まで可。(ただしあくまでも、ナチュラルネイルの色と形に合わせて対応すること)
- 実技試験1週間前からファイル及びキューティクルクリーンなどの手入れをしないこと。
- カラーポリッシュは真赤(パール、メタリック入りは不可)。試験前日までに両手に塗布しておくこと。

| | | | |
|-----------|---------------|---|--|
| 事前審査(15分) | | <p><テーブルセッティング&消毒管理>・・・P6参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具、用材のセッティングと品名ラベルの表示について ・衛生面における配慮 ・ウェットステリライザーの状態 <p><モデルの爪></p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ポリッシュの塗布の状態 ・イクステンション、リベアの有無。規定の2本以内であるかどうか。(該当する場合は申告すること) ・フリーエッジの形、キューティクルの手入れの状態 ・爪および皮膚(手指に限定)の状態 <p>※ハーフチップの仕込みの状態のチェックは行いません(仕込みはすべて自由)。</p> | |
| | | <p>手指消毒から始める。ポリッシュオフ、ファイル、ブラシグウン、キューティクルクリーンまで行う。</p> | <p>①手指消毒は指先、指間にいたるまでしっかりと清拭する。</p> <p>②カットスタイルは「<u>ラウンド</u>」。</p> <p>③フリーエッジは長い場合でも5mm程度までとする。 (10本のバランスを整えること)</p> <p>④ナチュラルネイルのファイルは、エメリーボードを使用すること。</p> |
| ネイルケア | 両手10本 | <p>⑤仕上げ用パフ使用可。</p> <p>⑥メタルプッシャー使用可。</p> <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーンプッシャー ・セラミックプッシャー ・ネイルマシーン ・シャーミー(革製)パフ ・オイル ・その他規定外の用具、用材 | |
| チップ&ラップ | | <p>フリーエッジ又は、ネイルプレート上にチップを装着し、リベアテクニック(ラップ)で補強するチップイクステンション。</p> | |
| | | <p>①チップ装着時には、ナチュラルネイルを短くする。</p> <p>②チップの色は「<u>ナチュラルのみ</u>」を使用する。</p> <p>③チップの仕込みはすべて自由。</p> <p>④フリーエッジ(爪先)は「<u>5mm程度とする</u>」。</p> <p>※チップ&ラップ装着の爪の長さは、他の9本と違ってよい。</p> <p>⑤スタイリングは「<u>ラウンド</u>」。</p> <p>⑥ラップ素材は自由。</p> <p>⑦ラップ材は、ストレスポイントをしっかりと覆い、エッジの先端までを装着すること。</p> <p>⑧ウォッシュャブルファイル、パフ使用可。</p> | |
| カラーリング | チップ&ラップの指以外9本 | <p>⑨アクティベーター(レジン、グルー等硬化促進剤)使用可。</p> <p>⑩Cカーブは10%程度「<u>右図イラスト参照</u>」。</p> <p>⑪仕上げのパフリング後は何も塗布しないこと。</p> <p>⑫カラーリング不可。</p> <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーンプッシャー ・セラミックプッシャー ・電気ドリル ・ネイルマシーン ・シャーミー(革製)パフ ・オイル ・研磨剤 ・エア缶タイプのアクティベーター ・その他規定外の用具、用材 | |
| ネイルアート | 右手中指 | <p>⑬テーマは「<u>フルーツ</u>」フラットアート(イラスト)。カラーリングの赤をベースとしトップコートまで仕上げる。</p> <p>⑭カラーリングの赤に映える「<u>フラットアート</u>」を施す。</p> <p>⑮ラメ、ラインストーン等使用可。</p> <p>⑯図案等の参考資料の持ち込み禁止。(カンニング行為と見なす)</p> | |
| | | <p>④裏面もカラーリングする。エッジのみでも可。</p> <p>⑤仕上げはトップコートまでとする。</p> <p>使用を禁止する用具、用材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オイル ・規定外の用具、用材 ・アート用ステッカー(アートシール) | |



アート見本

試験内容

合格ライン：実技、筆記ともに100点満点で80点以上合格。

1級は、2級試験に合格していないと受験できません。

実技試験 事前審査(15分) テーブルセッティング&消毒管理、モデルの爪の状態
 所要時間(150分) ネイルイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)
 ネイルアート(ミックスメディアアート)

筆記試験 所要時間(45分)
 出題内容：衛生と消毒/化粧品学(材料、内容成分、効果等)/爪の構造(皮膚科学)/爪の病気とトラブル(爪の生理解剖学)/
 ネイルケアの手順/イクステンションの手順/その他実践的施術全般/プロフェッショナリズム等
 ※実技試験のみ、あるいは筆記試験のみの受験はできません。

実技試験項目の概要

モデルの爪について ※モデルの方は16歳以上に限ります。(男女不問)

- モデルの爪、及び皮膚(手指に限定)に疾患、特に感染症が認められる場合や、妊娠中の方はモデルになれません。
- モデルの爪10本はカラーリング、イクステンション、装飾が一切されていないこと。(事前のネイルケア可)
- ネイルイクステンションのプレパレーション(サンディング)は試験時間内に行ってください。
- 右手親指・小指は審査対象外となります。

| | | | |
|-------------|------------------------|--|--|
| 事前審査(15分) | | <テーブルセッティング&消毒管理>・・・P6参照 ・用具、用材のセッティングと品名ラベルの表示について ・衛生面における配慮 ・ウェットステライザーの状態 ・ネイルケア用具の持込み可 <モデルの爪> ・イクステンション、カラーリング、装飾がされていないかどうか。 ・イクステンションのプレパレーション(サンディングの有無) ・爪および皮膚(手指に限定)の状態 <チップの状態>・プレスオンチップ(ミックスメディアアート用)・・・一切のカラーリング、装飾がされていない状態であるかどうか。 ※ハーフチップの仕込みの状態のチェックは行いません(仕込みはすべて自由)。 | |
| ネイルイクステンション | スカルプチュアネイル 左手5本 | アクリル用材のミックスチュアでネイルフォームを使用して造形的に人工爪をつくる。 イクステンションに関する注意事項 | <共通事項> ① 手指消毒は指先、指間にいたるまでしっかりと清拭する。 ② サンディングから始める。 ③ ナチュラルスタイル、フレンチスタイルのいずれかを選択し、すべてのイクステンションを同じスタイルに統一すること。 ④ 使用する材料はアクリルのみ。 ⑤ スタイリングは「スクエア・オフ」。(右図イラスト参照) ⑥ フリーエッジの仕上げの長さはネイルベッドの長さを考慮して「10mm程度までとする」。 ⑦ Cカーブは20%～30%〔右図イラスト参照〕 ハイポイントは爪の長さ、形に合わせてスタイリングする。 ⑧ パフファ使用可。 ⑨ 仕上げのパフイング後は何も塗布しないこと。 ⑩ Cカーブ用スティックは使用可。 ただし、ピンチングは指のみで行うこと。 ⑪ 電源の使用不可。 ⑫ 図案等の参考資料持ち込み禁止。(カンニング行為と見なす) ⑬ 電源の使用不可。 ⑭ 図案等の参考資料持ち込み禁止。(カンニング行為と見なす) ⑮ 電源の使用不可。 |
| | チップ&オーバーレイ 右手中指・右薬指 | フリーエッジ又はネイルプレート上にチップを装着し、その上から全体をミックスチュアでカバーする人工爪。 <スカルプチュアネイル> ① ナチュラルスタイルのフリーエッジ部分は、ナチュラルパウダーで作成すること。 ② ナチュラルスタイルのネイルベッド部分は、ナチュラル、クリア、クリアピンクのいずれかのパウダーで作成すること。 ③ フレンチスタイルで使用するパウダーは、ホワイトと、クリアまたはクリアピンクとする。 ※ネイルフォームをとめるための文具類は使用禁止 <チップ&オーバーレイ> ① チップの色は、ナチュラル、ホワイト以外の色は使用不可。 ② チップの仕込みはすべて自由。 ③ ナチュラルスタイルで使用するパウダーは、ナチュラル、クリア、クリアピンクとする。 ④ フレンチスタイルで使用するパウダーは、クリア、クリアピンク、ホワイトとする。 | |
| ミックスメディアアート | 右手人差し指 | テーマは「フルーツ」 アクリル用材のミックスチュアで作る3Dアート(立体)と他の技法(フラットアート、エンボス等)との組み合わせ。ただし、メインアートは3Dで作成すること。色指定なし。(ベースカラーの塗布は自由) <組み合わせの例> ・3Dアート+フラットアート ・3Dアート+エンボス ・3Dアート+フラットアート+エンボス アート見本 | ① プレスオンチップを使用する。 ② スタイリングは「スクエア・オフ」。他のイクステンションと同じ長さに統一すること(事前に仕込み可)。 ③ プレスオンチップは一切のカラーリング、装飾がされていない状態でスタートする(事前に裏面の接着剤の使用可) ④ 3Dパーツ持ち込み禁止。全てを試験時間内に作製すること。 ⑤ チップスタンドや治具を使用してのアート製作は禁止。モデルの爪の上にプレスオンの状態でアート製作を行なうこと。 ⑥ 3D及びエンボスのマテリアル(素材)はアクリル用材のみを使用。 ⑦ ミックスチュアのエンボスだけのアートは不可。 ⑧ 3Dアートの仕上げは、幅・高さともに「直径2cm程度」。 ⑨ ラメ、ラインストーンは使用可。 ⑩ 図案等の参考資料持ち込み禁止。(カンニング行為と見なす) ⑪ 電源の使用不可。 ⑫ 図案等の参考資料持ち込み禁止。(カンニング行為と見なす) ⑬ 電源の使用不可。 |

実技試験の注意事項

事前審査のチェックポイント <テーブルセッティング&消毒管理>

- 用具、用材のセッティングと品名ラベルの表示について
- 衛生面における配慮
- ウェットステリライザーの状態
- 事前にラベル貼付の必要な用具、用材を確認し、品名ラベルを貼ること(下記のリスト参照)。容器にあらかじめ商品の名前がついていても別につけること。アルファベット表記は不可。ラベルは見やすい位置に貼ること。
- 用具、用材は衛生的に整理整頓し配置すること。
※トレイはプラスチックや金属製などの消毒可能なもの(木・紙製は使用不可)。
※ネイル専用ブラシはトレイなどにセットする(テーブルに直置きしない)。

テーブルセッティング参考例

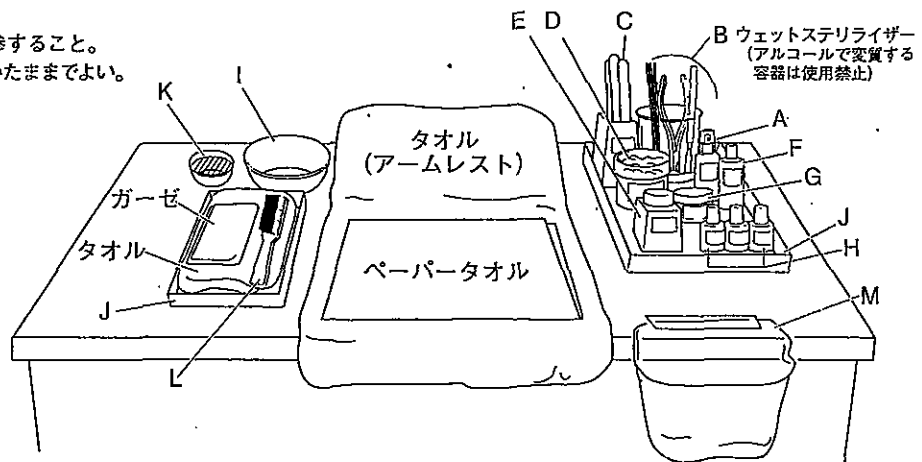
必要な用具、用材は、受験級に応じて試験の内容を確認のうえ、すべて持参すること。

(下図参照。使用する用具、用材は衛生的に整理整頓し配置すること)

- A: 消毒液…消毒用エタノールなどの消毒液
- B: ウェットステリライザー(アルコールで変質する容器は使用禁止)
…消毒液をニッパーの刃が浸る程度の量を目安に入れ、ニッパー、ウッズスティック、メタルプッシャー等を浸す。
- C: エメリーボード入れ
- D: コットン…蓋付き容器を使用すること。
- E: ポリッシュリムーバー
- F: 液体ソープ
- G: キューティクルクリーム or リムーバー
- H: ポリッシュ類
- I: フィンガーボール…適温の湯に液体ソープを少量入れる。
- J: トレイ…用具、用材は衛生的に整理整頓し配置すること。
- K: 水を入れた容器…綿棒、ガーゼを湿らせる際に使用する。(直置きでも可)
- L: ネイルブラシ…消毒済のネイル専用ブラシを使用すること。トレイなどにセットする(テーブルに直置きは不可)。
- M: ゴミ袋またはゴミ箱

※下図は、右利き用のテーブルセット例
(テーブルセットは利き手側にセットすること)

- ⑧ お湯は必ず携帯用ポットに入れて持参すること。実技試験中はテーブル上にポットを置いたままでよい。(フィンガーボールへのつぎたしが可能)
- ・照明器具は持込禁止。



<ネイルケアの参考例>

1級、2級で使用する用具、用材は、衛生的に整理整頓しトレイ等に配置すること。

品名ラベルを必ず貼る用具、用材

| | | | |
|-----------|--|---|--------------------------------------|
| 3級 | ・ウェットステリライザー ・キューティクルクリーム or キューティクルリムーバー (注) プレプライマーを使用する場合には、品名ラベルを貼ること。 | ・コットン ・消毒剤 ・ベースコート ・カラーポリッシュ ・トップコート | ・ポリッシュリムーバー ・液体ソープ ・グルー or レジン |
| 2級 | ・シルク (注) 上記に記載した用材の選択は自由。 ※ネイルケア用品は3級に準じる。 | ・グラスファイバー ・グルー ・フィラー ・レジン ・アクティベーター ・プレプライマー | |
| 1級 | ・アクリルパウダー ・アクリルリキッド ・プレプライマー ・プライマー (注) その他アセトン、ブラシクリーナーなどを使用する場合は、品名ラベルを貼ること。 ※ネイルケア用品は3級に準じる。 | ・グルー or レジン | |

※上記以外の用具、用材等の品名ラベルの貼付は任意。

試験(実技、筆記)における減点対象

| 1級 | 2級 | 3級 | 減点対象事項 |
|----|----|----|---|
| ○ | ○ | ○ | ・用具、用材が衛生的に整理整頓されていない場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・用具、用材を直接テーブルに置いた場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・品名ラベルを必ず貼る用具、用材にラベルを貼っていない場合やアルファベット表記の場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・消毒が不適切と認められる場合(手指及び用具消毒) ※例外参照 |
| ○ | ○ | ○ | ・私語の多い場合やマナーが悪い場合(モデルを含む) |
| ○ | ○ | ○ | ・ゴミを持ち帰らない場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・手指へのダメージを与えた場合(モデル・受験生ともに) |
| ○ | | | ・イクステンション、カラーリング、装飾がされている場合 |
| ○ | | | ・イクステンションのプレパレーション(サンディング)をしている場合 |
| | ○ | | ・2級後半試験を手指消毒から行わない場合 |
| | ○ | | ・2級後半試験で前半試験と同じ工程を繰り返し行なった場合 |
| | ○ | | ・2級ネイルアートの仕上げにトップコートを塗布していない場合 |
| | ○ | ○ | ・モデルの爪が明らかに手入れされている場合 |
| | ○ | ○ | ・事前のポリッシュ塗布が手抜きである場合 |
| | ○ | ○ | ・イクステンションとリベアを合わせて3本以上施している場合 |
| | ○ | ○ | ・イクステンションとリベアを施した爪がナチュラルネイルの色と形に合わせて対応していない場合 |
| | ○ | ○ | ・イクステンション、リベア以外のナチュラルネイルにウォッシュブルファイルを使用した場合 |
| | ○ | ○ | ・ブラシダウンを行わない場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・受験票、筆記用具忘れの場合や1級・2級の受験票に写真が貼付されていない場合 |

※試験中に用具類を落とした場合は、監査官又は試験官に手を挙げて連絡し、自分で拾い、手指及び用具消毒を行った後、「消毒しました」と挙手をして申告すること。(再使用しない物は、消毒を行わなくてもよいが、落とした物を拾う行為に対して手指消毒を行うこと)

(注) ○印が減点・失格に該当

試験(実技、筆記)における失格対象

| 1級 | 2級 | 3級 | 失格対象事項 |
|----|----|----|-----------------------------------|
| ○ | ○ | ○ | ・遅刻(事前審査開始迄にモデルと共に着席していない場合) |
| ○ | ○ | ○ | ・カンニング等の不正行為 |
| ○ | ○ | ○ | ・事前審査や実技試験終了後に手を加えた場合(モデルも同様) |
| ○ | ○ | ○ | ・用具、用材を忘れた場合や事前審査開始後に貸し借りを行った場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・試験官の指示に従わない場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・実技テストにおけるタイムオーバー |
| ○ | ○ | ○ | ・手指への著しい損傷を与えた場合(モデル・受験生ともに) |
| ○ | ○ | | ・手指間違い |
| ○ | ○ | ○ | ・使用を禁止している用具、用材などを使用した場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・モデルが試験中に受験生にアドバイスを行なった場合 |
| ○ | ○ | ○ | ・ウェットステリライザーを用意していない場合 |
| ○ | | | ・文具類を使用してネイルフォームを固定した場合 |
| ○ | | | ・ミックスメディアアートの製作にチップスタンドや治具を使用した場合 |
| ○ | | | ・3Dパーツを持ち込んだ場合 |
| | ○ | | ・2級前半試験で後半試験の内容を行なった場合 |
| | ○ | | ・2級チップラップでナチュラルチップ以外の色を使用した場合 |
| ○ | | | ・1級アート用にカラーチップ、クリアチップを使用した場合 |
| ○ | | | ・事前に1級アート用プレスオンチップにカラー塗布、装飾がある場合 |
| ○ | ○ | | ・アート用にステッカー(アートシール)を使用した場合 |
| ○ | ○ | | ・ネイルアートの図案などを持ち込んだ場合 |
| | ○ | ○ | ・事前に赤ポリッシュをモデルの爪に塗布していない場合 |

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。
- ・また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込帯を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込帯に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼付

印

スケジュール

～申込みから合否発表まで～

申込期間

2010年2月1日(月)～2月26日(金) (締切日当日払込 有効)

※払込手数料はご負担下さい。
※払込金受領証は受験票が届くまで大切に保管して下さい。

受験票発送

2010年3月下旬頃 受験票は封書で送付いたします。

※1級受験者および2級受験者は顔写真を受験票に貼る。
※写真は3cm×2.5cm、6ヶ月以内に撮影したもの。
※写真は必ず証明写真を貼ること。スナップ写真は不可。

お問い合わせ期間 (受験票未着等)

2010年3月29日(月)～4月2日(金)

3月26日(金)までに受験票が届かない場合、または住所・名前に誤りがある場合は、必ず3月29日(月)～4月2日(金)の期間内に検定試験センターまでご連絡下さい。

試験当日

1級 2010年4月18日(日)

2級 2010年4月17日(土)

3級 2010年4月25日(日)

試験当日は受験票を必ずお持ち下さい。

※欠席の場合、事前連絡は不要です。
※試験当日のお問い合わせは検定試験センターまで、ご連絡下さい。会場への連絡は受付けていません。

合否通知発表

2010年5月下旬頃

合否通知は封書で送付いたします。

※合格者のみホームページにて受験番号を記載いたします。
※合否通知は大切に保管して下さい。
※試験結果は、郵送(封書)にて本人宛に送付します。受験者の書面による同意なしに、個人情報について、外部に公表することはありません。

合格証書発送

2010年6月下旬

合格者には合格証書を発送します。申込書に書かれたお名前前で合格証書を作成します。該当文字がない場合はアルファベット表記になりますので、ご了承下さい。

注意

- ① 実技試験のみ、あるいは筆記試験のみの受験はできません。
- ② 事前審査開始迄に、モデルと共に着席していないと受験は出来ません。
- ③ 受付は行いませんので、会場に着席位置を必ず確認すること。着席間違いは自己責任となります。
- ④ 試験に必要な物はすべて持参すること。
★受験票
★実技試験に必要な用具一式(予備の材料、道具は各自の判断でお持ち下さい)
★鉛筆またはシャープペンシル(HBまたはB)
★消しゴム(よく消える物)
※貸し出しは一切行いません。
※筆記試験でのボールペン、サインペンの使用不可。
- ⑤ 不正行為を行った場合は失格となります。
- ⑥ 試験会場では、試験官の指示に従うこと。受験生、モデル共にマナーを守り受験に臨むこと。(マナー違反は減点対象)
- ⑦ 実技試験の際の手回りのアクセサリーは時計のみとする。(モデルも同様)
- ⑧ 受験生は、ネイリストとしてふさわしいネイルケアを施すこと(カラーリングは自由)。服装も自覚と節度をわきまえること。
- ⑨ ゴミはすべて持ち帰って処分すること。
- ⑩ 検定試験センターでは、試験に関するご質問は一切お受けしません。

※受験票、筆記用具忘れ(1・2・3級)、写真貼付忘れ(1・2級のみ)は減点対象となります。

「ネイリスト技能検定試験」変更内容のお知らせ(2010年4月より)

一般財団法人日本ネイリスト検定試験センターでは、2010年4月実施の春期試験より、1級の開催都市を2都市から11都市へ拡大し、3級の実施回数も増加致します。今後も、広くプロネイリストを目指す皆様の一つの指標としてより専門性を高め、公的資格の認証を目指して参ります。また、受験を志す皆様にとってよりよい環境の整備に努めて参ります。

2010年4月より変更となる事項

- 1級検定試験の開催都市を全国11都市へ。
- 3級検定試験の実施回数を年2回以上に。

| 試験開催期 | 試験開催日 | 受験申込期間 | 合格発表予定日 | オフィシャル試験会場 |
|-----------------|-------------------------------------|-----------------------------|--------------------|---|
| 2010年 春期(4月) | 1級 18日(日) 2級 17日(土) 3級 25日(日) | 2010年 2月1日(月)～2月26日(金) | 2010年 5月24日(月) | 1級…東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・金沢・広島 2級・3級 札幌・盛岡・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・ 広島・高松・福岡・沖縄 |
| 夏期(7月) | 3級 18日(日) | 2010年 5月10日(月)～5月31日(月) | 2010年 8月16日(月) | 3級…札幌・盛岡・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・ 広島・高松・福岡・沖縄 |
| 秋期(10月) | 1級 17日(日) 2級 16日(土) 3級 24日(日) | 2010年 8月2日(月)～8月31日(火) | 2010年 11月22日(月) | 1級…東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・新潟・高松・沖縄 2級・3級 札幌・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・ 広島・高松・福岡・沖縄 |
| 2011年 冬期(1月) | 3級 23日(日) | 2010年 11月8日(月)～11月30日(火) | 2011年 2月14日(月) | 3級…札幌・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・ 広島・高松・福岡・沖縄 |
| 春期(4月) | 1級 17日(日) 2級 16日(土) 3級 24日(日) | 2011年 2月1日(火)～2月28日(月) | 2011年 5月23日(月) | 1級…東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・金沢・広島 2級・3級 札幌・仙台・東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・ 広島・高松・福岡・沖縄 |

※赤字は2010年4月より変更となる事項です。
※2010年春期、夏期は盛岡会場が加わります。

※上記スケジュールは変更する場合があります。

ネイリスト技能検定試験規則


一般財団法人日本ネイリスト検定試験センター

2009年1月施行

- 第1条 一般財団法人日本ネイリスト検定試験センターは、この規則によりネイリスト技能検定試験を行う。
- 第2条 試験は年1回以上行う。その日時及び実施会場はその都度定める。
- 第3条 検定は1級を最高レベルとし、1、2、3級の3段階から成る。
- 第4条 試験の科目及び程度を次の如く定める。
1級：ネイルケア、イクステンション、リペア、アートの総合的な技能及び知識。アメリカ各州のライセンス試験と同等以上の技能及び知識。
2級：ネイルケア、リペア、チップイクステンション、アート。ネイルケアのサロンテクニック。
3級：ネイリストベーシック。ネイルケアに関する基本的な技能及び知識。
- 第5条 全級の試験の採点は実技試験・筆記試験ともに100点満点とし、80点以上の得点をもって合格とする。
- 第6条 合格者には合格証書を授与する。
- 第7条 1級受験者は2級を合格した者であること。2級受験者は3級を合格した者であること。3級の受験資格は制限しない。ただし、二つの級を同時に受験することはできない。
- 第8条 受験を希望する者は規定の申込手続きを指定の期日までにしなければならない。受験料は別に定める。受理した書類、受験料は試験施行中止などの事情のほかは返還しない。
- 第9条 試験官、試験監査官、試験全般に関わる委員は、試験センターが委嘱する。
- 第10条 試験に関し不正行為のあった者は、その合格を取り消す。
- 第11条 筆記試験のみ合格した場合、次回の試験で同級受験に限り筆記試験は免除される。

個人情報の取り扱いについて

当試験に申し込みされた方(以下「申込者」)の個人情報は、申し込みいただいた試験の実施に必要な範囲内で、その目的の達成に必要な限度に応じて使用いたします。また、この個人情報の収集は、適法かつ公正な手段によって行われるものとします。当試験の運営団体である一般財団法人日本ネイリスト検定試験センター(以下「当試験センター」)は、申込者から収集した個人情報を申込者本人の書面による同意なしに第三者に開示することは原則としてありません。試験終了後、当試験センターまたは当試験センターが業務を委託する団体から、次回以降の試験やその他当試験センターの事業に関する情報をダイレクトメール、電話、Eメール等でご案内させていただくことがあります。ご案内を中止されたい方は当試験センターまでご連絡下さい。

 一般財団法人
日本ネイリスト検定試験センター

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-3 赤坂東急ビル5F
TEL 03-3519-6830 FAX 03-3519-6835
URL <http://www.nail-kentei.or.jp>



※検定試験センターでは、試験に関するご質問は一切お受けしません。この要項を熟読して下さい。

第10回

JNAジェルネイル 技能検定試験 [初級]

JNA GEL NAIL EXAMINATION

試験要項

2010年2月13日(土)・14日(日) 東京地区

2010年2月27日(土)・28日(日) 大阪地区

※当協会では試験内容に関するご質問は一切お受けいたしません。

この要項を熟読してください。

※ホームページ上に検定試験Q&Aを掲載しています。



試験概要

※試験内容、スケジュール等は変更になる場合があります。受験票で確認してください。

日程・会場・定員

下記地区、日程で実施します。各日程ともに、1日2回(午前/午後)実施します。
※会場の都合により、それぞれの定員を設定しています。

| | | | |
|-------|---------------|-----------|-------------------------------|
| ◎東京地区 | 2010年2月13日(土) | 定員：3,000名 | 両日とも1,500名 (午前750名、午後750名) |
| | 2010年2月14日(日) | | |
| ◎大阪地区 | 2010年2月27日(土) | 定員：2,000名 | 両日とも1,000名 (午前500名、午後500名) |
| | 2010年2月28日(日) | | |

各地区・日程ともに、複数の会場を設定して実施する予定です。受験希望者は受験地区(東京地区、大阪地区)と受験日を選択できますが、受験会場・時間帯(午前/午後)を選択することは出来ません。受験票でお知らせする会場・時間帯で受験してください。

受験料

9,450円(税込) ※申し込み後の取り消し、受験地区・日程の変更は一切お受けできません。
※受験料は、試験施行中止以外、理由のいかんに関わらず返金いたしません。
※実技試験第1課題免除者に対し、受験料の割引はありません。

受験資格

義務教育を修了している方であれば、どなたでも受験出来ます。

申込期間

2009年12月7日(月)11:00～25日(金)17:00 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

申込方法

試験のお申し込みは、インターネットからのみ受け付けております。JNAホームページよりお申し込みください。受験料のお支払いはクレジットカード決済かコンビニ決済となります。(郵送等でのお申し込みは一切受け付けておりません) ※詳細は7ページ参照

試験内容

◎事前審査[20分] テーブルセッティング(消毒管理、ジェルネイル用材、ライトの動作確認含む)、モデルの爪の状態
◎実技試験 第1課題[35分] ◦両手10本：ネイルケア
(手指消毒、ポリッシュオフ、ファイリング、キューティクルクリーンまで)
インターバル[5分] ◦第1課題の片付け、第2課題の準備
第2課題[60分] ◦左手5本：ポリッシュカラーリング(赤)
◦右手5本：ジェルカラーリング(赤)
◦右手中指：ジェルアート
(ジェルカラーリングの赤に映えるジェルアート(ピーコック)を施す)
◎筆記試験[30分] マークシート方式 ◦ネイルに関する基礎知識：衛生と消毒/爪の構造(皮膚科学)/爪の病気とトラブル(爪の生理解剖学)/ネイルケアの手順
◦ジェルネイルに関する基礎知識
※鉛筆、またはシャープペンシル(HBまたはB)および消しゴム(よく消える物)を必ずお持ちください。ボールペン、サインペン等は使用できません。

合格基準

筆記試験・実技試験ともに100点満点のうち80点以上で合格とします。

合格証・資格バッジ

合格者には合格証(ディプロマ)・資格バッジを発行します。

免除制度

◎実技試験第1課題免除 ネイリスト技能検定試験(JNE主催)の3級以上を取得していれば、実技試験第1課題(ネイルケア)は免除されます。免除を適用する方は、申し込み時にネイリスト技能検定試験(JNE主催)の合格認定番号を記入する必要があります。合格認定番号は合格証書(ディプロマ)の左下に印字してあります。複数の級を取得している方は、最上位級の合格認定番号を記入してください。
※今回の免除対象は2009年春期試験までに合格の方です。(2009年秋期合格認定番号は対象となりません。)
※合格認定番号が不明の場合は、一般財団法人日本ネイリスト検定試験センター(03-3519-6830)にお問い合わせください。

◎筆記試験免除 今回の試験で「筆記試験のみ合格」となった場合、次回試験に限り筆記試験を免除とします。筆記試験免除を適用するには、申し込み時に「筆記試験のみ合格」となった際の受験番号が必要となります。
※実技試験第1課題免除、筆記試験免除ともに、受験料の割引はありません。
※今回は初回試験のため筆記試験免除の該当はありません。

当協会では試験内容に関するご質問は一切お受けいたしません。この要項を熟読してください。

※ホームページ上に検定試験Q&Aを掲載していますので確認してください。※追記が発生した場合、随時ホームページ上で案内しますのでよく確認してください。

タイムスケジュール

タイムスケジュールは、全日程共通です。

受付は行いませんので、入場時間内に指定会場へ入場の上、事前審査開始までに指定の受験番号の席にモデルとともに着席し、先にテーブルセッティングを済ませてください。出欠確認は事前審査とあわせて行います。

入場時間内に指定会場へ入場していない場合は、理由のいかんに関わらず失格となります。

※モデルの方は実技審査終了後にお帰りください。

午前
の部

第1課題受験者 (第1課題・第2課題ともに受験)

| | | |
|---------------|----------------|---------------------|
| 9:10 - 9:40 | 入場時間 | ※9:40を過ぎると一切入場できません |
| 9:45 - 10:05 | 出欠確認・事前審査 | |
| 10:05 - 10:40 | 実技試験・第1課題(35分) | |
| 10:40 - 10:45 | インターバル | (片付け・準備) |
| 10:45 - 11:45 | 実技試験・第2課題(60分) | |
| 11:45 - 12:25 | 実技審査 | |
| 12:25 - 12:50 | 筆記試験準備 | (道具の片付け時間含む) |
| 12:50 - 13:20 | 筆記試験(30分) | |

午後
の部

| | | |
|---------------|----------------|----------------------|
| 13:35 - 14:05 | 入場時間 | ※14:05を過ぎると一切入場できません |
| 14:10 - 14:30 | 出欠確認・事前審査 | |
| 14:30 - 15:05 | 実技試験・第1課題(35分) | |
| 15:05 - 15:10 | インターバル | (片付け・準備) |
| 15:10 - 16:10 | 実技試験・第2課題(60分) | |
| 16:10 - 16:50 | 実技審査 | |
| 16:50 - 17:15 | 筆記試験準備 | (道具の片付け時間含む) |
| 17:15 - 17:45 | 筆記試験(30分) | |

第1課題免除者 (第2課題のみ受験)

| | | |
|---------------|----------------|----------------------|
| 9:50 - 10:20 | 入場時間 | ※10:20を過ぎると一切入場できません |
| 10:25 - 10:45 | 出欠確認・事前審査 | |
| 10:45 - 11:45 | 実技試験・第2課題(60分) | |
| 11:45 - 12:25 | 実技審査 | |
| 12:25 - 12:50 | 筆記試験準備 | (道具の片付け時間含む) |
| 12:50 - 13:20 | 筆記試験(30分) | |

| | | |
|---------------|----------------|----------------------|
| 14:15 - 14:45 | 入場時間 | ※14:45を過ぎると一切入場できません |
| 14:50 - 15:10 | 出欠確認・事前審査 | |
| 15:10 - 16:10 | 実技試験・第2課題(60分) | |
| 16:10 - 16:50 | 実技審査 | |
| 16:50 - 17:15 | 筆記試験準備 | (道具の片付け時間含む) |
| 17:15 - 17:45 | 筆記試験(30分) | |

※上記スケジュールはモデルケースです。正式なスケジュールは受験票でご確認ください。

※受験希望者は受験日を選択できますが、時間帯(午前/午後)を選択することは出来ません。受験票でお知らせする時間帯で受験してください。

実技試験に関する注意事項

モデルの爪について

【第1課題・第2課題共通】

- モデルの方は16歳以上に限ります。(男女不問)
- モデルの爪、及び皮膚(手指に限定)に疾患、特に感染症が認められる場合や、妊娠中の方はモデルになれません。
- モデルの爪はナチュラルネイルをベースとしますが、イクステンションとリペアは、合わせて2本まで可能です。
(ただしあくまでも、ナチュラルネイルの色と形に合わせて対応すること)

【第1課題受験者】

- 実技試験1週間前からファイル及びキューティクルクリーン等の手入れをしないこと。
- 試験前日までに両手にネイルポリッシュを塗布しておくこと。(ネイルカラーは真赤。パール、メタリック入りは不可)

【第1課題免除者】

- 事前に両手を第1課題終了時の状態に仕上げしておくこと。

○用具、用材のセッティング

- ・第1課題受験者は事前審査時に第1課題、第2課題で使用
するすべての用具、用材(ライト*含む)をセットすること。
- ・第1課題免除者は第2課題で使用
するすべての用具、
用材(ライト*含む)をセットすること。
- ・第1課題受験者は事前審査終了後、第2課題のみで使用
する用具、用材を一旦片付けてもよい。
- ・ライト*はアームレストとして使用してもよい。

※トレイはプラスチックや金属製の消毒可能なものを使用すること(木・紙製は使用不可)。

※ネイル専用ブラシはトレイなどにセットすること(テーブルに直置きしない)。

※ジェルのかくはんには、スパチュラ等プラスチックや金属製の消毒可能なものを使用すること(つまようじ、竹串等は使用不可)

○品名ラベルの表示

事前にラベル貼付の必要な用具、用材を確認し、品名ラベルを貼ること(右記のリスト参照)。容器にあらかじめ商品の名前がついていても別につけること。アルファベット表記は不可。ラベルは商品の成分表示と重ならないように、見やすい位置に貼ること。

品名ラベルを必ず貼る用具、用材

第1課題(ネイルケア)

- ・ウェットステリライザー・コットン容器・消毒剤・ポリッシュリムーバー・液体ソープ・キューティクルクリーム or キューティクルリムーバー

第2課題(ポリッシュカラーリング)

- ・ベースコート・カラーポリッシュ・トップコート

※プレプライマー(使用する場合)

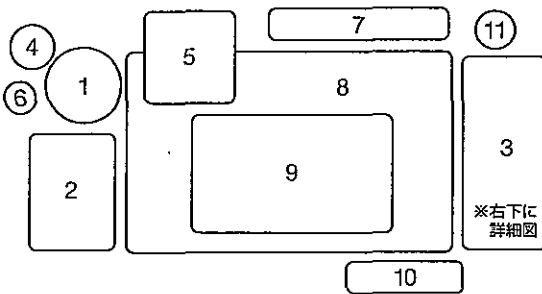
第2課題(ジェルカラーリング・ジェルアート)

- ・ベースジェル・カラージェル・トップジェル・クレンザー・ワイプ容器

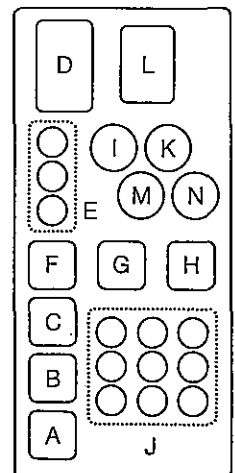
○衛生面における配慮

衛生的に用具、用材を配置すること。

テーブルセッティング参考例



- A. 消毒液…消毒用エタノール等の消毒液。
- B. ポリッシュリムーバー
- C. ウェットステリライザー(アルコールで変質する容器は使用禁止)…コットンまたはガーゼを敷き、消毒用エタノール等をニッパーの刃先が浸る程度の量を目安に入れ、ウッドスティック/ピンセット/メタルプッシャー/スパチュラ/キューティクルニッパー等を浸す。
- D. ファイル立て(エメリーボード/サンディング用ファイル又はバッファー)
- E. ポリッシュ/ベースコート/トップコート
- F. コットン容器…蓋付きを使用すること。
- G. ワイプ容器…蓋付きを使用すること。
- H. クレンザー
- I. キューティクルリムーバー又はキューティクルクリーム
- J. ベースジェル/カラージェル/トップジェル
- K. ダストブラシ…消毒済のネイルブラシを使用すること。トレイにセットすること。(テーブルに直置きは不可)。
- L. ブラシ立て
- M. 液体ソープ
- N. プレプライマー等



▲ 3(右トレイ)詳細図

- ①フィンガーボール…適温の湯に液体ソープを少量入れる。
- ②左トレイ(タオル/ガーゼ/ネイルブラシ)…衛生的に用具、用材を配置する。
- ③右トレイ(右記参照)…衛生的に用具、用材を配置する。
- ④ポット(お湯)
- ⑤ライト…使用できるライトは1人1台とする。
- ⑥ケア用水…綿棒、ガーゼを湿らせる際に使用する。(容器は直置きでも可)
- ⑦アームレスト
- ⑧タオル
- ⑨ペーパータオル
- ⑩ゴミ袋
- ⑪タイマー

- (注) ・お湯は必ず携帯用ポットに入れて持参すること。
実技試験中はテーブル上にポットを置いたままでよい。
(フィンガーボールへのつぎたしが可能)。
・照明器具は持込禁止。
※図は、右利き用のテーブルセット例(テーブルセットは利き手側にセットすること)。
※置き方は一例です。衛生的な配慮がしてあれば置き方は自由です。

事前審査

① 20分

テーブルセッティングについて

*「ライト」とは光重合を行うための紫外線、可視光線を発光する機械を指します。(UVランプ、LEDライト等)

ネイルケア

両手
10本

ネイルテクニックのベーシックであるケアを、手指消毒に始まり、ポリッシュオフ、ファイリング、キューティクルクリーンまで行う。

- 手指消毒は指先、指間にいたるまでしっかりと清拭する。
- ポリッシュオフは細部までしっかりと行う。
- カットスタイルはラウンド。
- フリーエッジは長い場合でも5mm以下とする。(10本のバランスを整えること)
- ナチュラルネイルのファイリングは、エメリーボードを使用すること。
- 仕上げ用パフ使用可。
- メタルプッシャー使用可。

使用を禁止する用具、用材

- ・ストーンプッシャー・セラミックプッシャー
- ・マニキュアマシン・シャーミー(革製)パフ
- ・オイル・その他規定外の用具、用材



第1課題終了(例)

検定試験では、第1課題、第2課題を連続して行いますが、第1課題はネイルケアの技術を確認するものであり、第2課題であるジェルネイルの前工程を表すものではありません。

インターバル [5分]

第1課題の片付け、第2課題の準備等

手指消毒から始め、左手5本にポリッシュカラーリング、右手5本にジェルカラーリングを施す。さらに右手中指にはジェルカラーリングの赤色のベースに映えるジェルアート(ピーコック)を施す。

- ポリッシュカラーリング、ジェルカラーリング、ジェルアートの順番は自由。
- 第1課題免除者は、事前に両手を第1課題終了時の状態に仕上げしておくこと。
- 第2課題も両手手指の消毒から始めること。



第2課題終了(例)



ジェルアート作品(例)

ポリッシュカラーリング

(赤)
左手
5本

左手5本の指にポリッシュカラーリングを施す。必ず、ベースコート、カラーポリッシュ(2度塗り)、トップコートまで仕上げる。

- 手指消毒は、指先、指間にいたるまでしっかりと清拭すること。
- リッジフィラー使用可。
- カラーポリッシュの商品は指定しない。

- カラーポリッシュは真赤(パール・メタリック入りは不可)。
- カラーポリッシュは2度塗りする。
- 裏面もカラーリングする。エッジのみでも可。
- 仕上げはトップコートまでとする。

使用を禁止する用具、用材

- ・オイル・その他規定外の用具、用材

ジェルカラーリング

(赤)
右手
5本

右手5本にジェルカラーリングを施す。必ず、ベースジェル、カラージェル(2度塗り)、トップジェルまで仕上げる。

- 手指消毒は、指先、指間にいたるまでしっかりと清拭すること。
- プレパレーション(サンディングから始める)は第2課題時間内に行うこと。
- ベースジェル、カラージェル、トップジェルは指定商品(5ページ参照)を使用し、使用する用材を受験票記入欄に記入し、当日持参すること。
- ベースジェルを塗布し、カラージェルは2度塗り、仕上げはトップジェルを使用する。

- カラージェルは指定商品リスト(5ページ参照)の赤指定色を使用すること。
- 必ずカラージェルは2度塗りし、エッジも塗布すること。
- 5本の爪の長さは揃えておくこと(フリーエッジの長さは5mm程度)。リペアは2本まで可。
- ジェルネイル商品の容器詰め替えは不可とする。
※必ず、指定商品の容器のまま持参すること。

使用を禁止する用具、用材

- ・オイル、クリーム類・ストーンプッシャー・セラミックプッシャー
- ・光重合で硬化させないUVカットのためのトップコート類・木製のつまようじ、竹串等、材料のかくはん用として、衛生的な措置が施せないもの・シャイナー等・その他規定外の用具、用材

ジェルアート

右手中指

右手中指にカラージェルを使用し、ジェルカラーリングの赤色のベースに映えるジェルアート(ピーコック)を施す。

- アート用のカラージェル(ラメ、グリッター、パールが入ったものでも可)は指定商品リストにあるブランドの商品を使用すること(5ページ参照)。
- ジェルアートは筆のみで描くこと。
- ラメ、ラインストーン、ホログラムの使用可。

- カラージェルやラメ等をミックスする際、ペーパーパレットの使用可。
- アート用ステッカー(アートシール)は使用不可。
- 図案等の参考資料の持込禁止。
- 仕上げはトップジェルを使用すること。

使用を禁止する用具、用材

- ・アート用ステッカー(アートシール)・木製のつまようじ、竹串等、材料のかくはん用として、衛生的な措置が施せないもの・シャイナー、パフ等・オイル、クリーム類・光重合で硬化させないUVカットのためのトップコート類・その他規定外の用具、用材

試験に使用するジェルネイル商品について

この試験で使用するジェルネイル商品(ベースジェル、カラージェル、トップジェル)は下記の中から選んでください。試験当日に使用する商品を申請してください。(受験票に記入欄を設けます。)

■指定商品リスト

50音順

| ブランド名 | ベースジェル | カラージェル | | トップジェル | 備考欄 |
|---------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|--|-------|
| | | シリーズ名 | 赤指定色 | | |
| アイビーディー | ソークオフクリアジェル | ソークオフジェルポリッシュ | パッション | ソークオフクリアジェル | ソークオフ |
| | クリアジェル | ジェルポリッシュ | エレクトリックレッド | クリアジェル | ハード |
| | | | レッドホット | ウルトラシール | |
| | | | バーンベイビーバーン | インテンスシール | |
| | | | フレンチエクストリームジェルクリアー | | |
| アクセント | ベースングロス | オプションズポリッシュカラーズ | クラシックレッド #003 | ベースングロス | ソークオフ |
| | オブティボンド | ジェルアートカラーズ | レッド #604 | オプションズクリア オプションズピンク | |
| | ボンディング | オプションズポリッシュカラーズ ジェルアートカラーズ | クラシックレッド #003 レッド #604 | トップグロス | ハード |
| イージーフロウ | | オルタナティブソークオフジェル | ホットティー #38082 | オルタナティブソークオフクリアービルダージェル | ソークオフ |
| | ジェルイットクリアイット | | | ジェルイットフィニッシュイット | ハード |
| オービーアイ | アクシウムソークオフジェルベース | アクシウムソークオフジェルラッカー | ビッグアップルレッド#AX412 | アクシウムソークオフジェルシーラー アクシウムソークオフジックジェルシーラー | ソークオフ |
| | アクシウムジェルベース | | | アクシウムノークレンズUVトップシーラー アクシウムクリアーオーバーレイジェル | ハード |
| クリストリオ | ビルダークリア | ジェラッカーカラー | レッドNo.270 | パーマッシュインジェラッカー | ソークオフ |
| | スカルプチュアクリアジェル | デザイナージェル | レッドNo.29 | クリアジェル | ハード |
| | クリアジェル | | | | |
| | ナチュラルジェル | | | | |
| タミーテ일러 | ソークオフネイルジェルクリア | ソークオフネイルジェル | レッド | ソークオフネイルジェル クリア ソークオフネイルジェルクリアUV | ソークオフ |
| ノビリティー | ノビリティークリアジェル ソークオフフォーミュラ | ノビリティーソークオフ フォーミュラ カラージェル | Passion Red Apple Red | ノビリティージェルトップ | ソークオフ |
| | レチャットジェルベース | | | プロテック レチャットジェルトップ | ハード |
| ノーリフトネイルズ | ノーリフトジェルクリアジェル | ノーリフトジェル カラージェル EX | 5RED | ノーワイフトップコート | ハード |
| | ノーリフトジェルプライマージェル | | | クリアベール | |
| バイオスカルプチュアジェル | クリアジェル | カラージェル | Pillar Box #19 Cherry Ripe #20 | Sジェル | ソークオフ |
| | スカルプティンダジェル | | | シーラージェル | |
| | シーラージェル | | | | |
| プレスト | クリアジェル | カラージェル | ノビル #80 | トップジェル | ソークオフ |
| メルティジェル | メルティジェルクリアジェル | メルティジェル カラージェルEX | 5RED | メルティジェルトップジェル | ソークオフ |
| | | | | メルティジェルクリアジェル | |

- ・第2課題ジェルカラーリング(赤)で使用するカラージェルは上記「赤指定色」のいずれかを選択してください。
- ・上記指定以外の商品を使用した場合は失格となります。
- ・ジェルアートで使用するカラージェルも上記ブランドの商品を使用してください。
- ・ベースジェル、カラージェル、トップジェル以外の商品の選択・組み合わせは自由です。
- ・同一ブランドのもので統一することが望ましいですが、必須条件ではありません。
- ・ライト(光重合を行うための紫外線、可視光線を発光する機械)は上記ブランドのものを使用することが望ましいですが、必須条件ではありません。
- ・このリストは今回の試験の指定商品リストです。次回以降の試験では、上記以外のブランド・商品が追加・変更される場合があります。
- ・ジェルネイル商品の容器詰め替えは禁止です。必ず指定商品の容器のままお持ちください。
- ・同一商品でベースジェルとトップジェルを兼用する場合も、必ず商品は2つ用意し、それぞれに品名ラベルをお貼りください。
- ・上記商品であれば、ハード、ソークオフの種類は問いません。(ハードとソークオフの組み合わせも自由)

試験における失格／減点事項

失 格 事 項

- ・遅刻(入場時間内に指定会場へ入場していない場合)
- ・カンニング等の不正行為を行った場合
- ・事前審査やインターバル、実技試験終了後に手を加えた場合(モデルも同様)
- ・用具、用材を忘れた場合や事前審査開始後に貸し借りをを行った場合
- ・試験官の指示に従わない場合
- ・実技試験におけるタイムオーバー(時間内にすべて終了しなかった場合)
- ・手指への著しい損傷を与えた場合(モデル・受験生ともに)
- ・手指を間違えた場合
- ・第1課題において事前に赤ポリッシュをモデルの爪に塗布していない場合
- ・使用を禁止している用具、用材などを使用した場合
- ・指定以外のジェルネイル商品を使用した場合
- ・モデルが試験中に受験生にアドバイスをを行った場合
- ・ウェットステリライザーを用意していない場合
- ・第1課題時間内に第2課題の内容を行った場合
- ・アート用にステッカー(アートシール)を使用した場合
- ・ネイルアートの圖案などを持ち込んだ場合

減 点 事 項

- ・用具、用材が整理整頓されていない場合
- ・用具、用材を直接テーブルに置いた場合
- ・品名ラベルを必ず貼る用具、用材にラベルを貼っていない場合やアルファベット表記の場合
- ・消毒が不適切と認められる場合(手指及び用具消毒)※
- ・私語の多い場合やマナーが悪い場合(モデルを含む)
- ・ゴミを持ち帰らない場合
- ・手指へのダメージを与えた場合(モデル・受験生ともに)
- ・第1課題においてモデルの爪が明らかに事前手入れされている場合
- ・第1課題において事前のポリッシュ塗布が手抜きである場合
- ・第2課題のプレパレーションを事前にしている場合
- ・第2課題を手指消毒から行わない場合
- ・第2課題で第1課題と同じ工程を繰り返し行った場合
- ・イクステンションとリペアを合わせて3本以上施している場合
- ・イクステンションとリペアを施した爪がナチュラルネイルの色と形に合わせて対応していない場合
- ・イクステンション、リペア以外のナチュラルネイルにウォッシュアップファイルを使用した場合
- ・ブラシダウンを行わない場合
- ・受験票を忘れた場合や受験票に写真が貼付されていない場合

※試験中に用具類を落とした場合は、監査官又は試験官に手を挙げて連絡し、自分で拾い、手指及び用具消毒を行った後、「消毒しました」と挙手をして申告すること。
(再使用しない物は、消毒を行わなくてもよいが、落とした物を拾う行為に対して手指消毒を行うこと)

受験に際しての注意事項

- ・免除者を除いて、実技試験のみ、あるいは筆記試験のみの受験はできません。
- ・受付は行いませんので、会場に着席位置を必ず確認すること。着席間違いは自己責任となります。
- ・試験に必要な物はすべて持参すること。
- ◎受験票
- ◎実技試験に必要な用具一式(予備の材料、道具は各自の判断でお持ちください)
- ◎筆記試験用の鉛筆 または シャープペンシル(HB またはB)、消しゴム(よく消える物)
※ボールペン・サインペン等は使用できません。
- ・ライトの故障等への対応はできません。自己責任となります。
- ・実技試験の際の手回りのアクセサリは時計のみとする。(モデルも同様)
- ・受験生は、ネイリストとしてふさわしいネイルケアを施すこと(カラーリングは自由)。服装も自覚と節度をわきまえること。
- ・ゴミはすべて持ち帰って処分すること。
- ・当協会では、試験内容に関するご質問は一切受け付けておりません。

受験会場まで飛行機を利用される方へ

液体の用材の機内持ち込み、及び預け入れが禁止される場合がありますので、下記の点を厳守してください。

- ① 別容器には詰め替えないでください。
- ② ネイル専用商品と分かるように、成分表示ラベルをはがさないでください。

申し込み方法

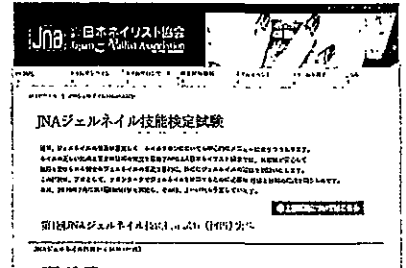
試験のお申し込みは、インターネット(PC・携帯)からのみ受け付けております。
JNAホームページよりお申し込みください。(12月7日(月)11:00受付開始)
受験料のお支払いはクレジットカード決済かコンビニ決済のいずれかとなります。
(郵送等での申し込みは、受け付けておりません)

■NPO法人日本ネイリスト協会ホームページ

<http://www.nail.or.jp>

※JNAジェルネイル技能検定試験ページをご覧ください。

携帯電話からも
お申し込み可能です。
右記QRコードを
ご利用ください。



申し込みから合否発表までの流れ

申 込 期 間

2009年12月7日(月)11:00~25日(金)17:00

※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。インターネットのお申し込み画面でご確認ください。

受 験 票 発 送

2010年1月20日頃

受験票はハガキ(圧着式)で送付いたします。

お 問 い 合 わ せ 期 間
(受験票未着等)

2010年1月25日(月)~29日(金)

1月24日(日)までに受験票が届かない場合、または住所・名前に誤りがある場合は、
必ず1月25日(月)~1月29日(金)の期間内に下記申込受付センターまでご連絡ください。

※受験票は試験終了後も大切に保管してください。

試 験 当 日

2010年2月13日(土)・2月14日(日) <東京地区>

2010年2月27日(土)・2月28日(日) <大阪地区>

試験当日は受験票を必ずお持ちください。

※欠席の場合、事前連絡は不要です。

※試験当日のお問い合わせは当協会事務局まで、ご連絡ください。会場への連絡は受け付けていません。

合 否 通 知 発 送

2010年3月下旬

※合否通知はハガキ(圧着式)で本人宛に送付します。

※合否通知は大切に保管してください。

合 格 証 ・ 資 格 バ ッ ジ 発 送


2010年4月下旬

合格者には合格証(ディプロマ)・資格バッジを送付します。

※試験内容、スケジュール等は変更になる場合があります。受験票で確認してください。

個人情報の取り扱いについて

当試験にお申し込みされた方(以下「申込者」)の個人情報は、申し込みいただいた試験の実施に必要な範囲内で、その目的の達成に必要な限度に応じて使用いたします。また、この個人情報の収集は、適法かつ公正な手段によって行われるものとします。当試験の運営団体であるNPO法人日本ネイリスト協会(以下「当協会」)は、申込者から収集した個人情報を申込者本人の書面による同意なしに第三者に開示することは原則としてありません。試験終了後、当協会または当協会が業務を委託する団体から、次回以降の試験やその他当協会の事業に関する情報をダイレクトメール、電話、Eメール等でご案内させていただくことがあります。ご案内を中止されたい方は当協会までご連絡ください。

 NPO 日本ネイリスト協会
法人 Japan Nailist Association
Non-Profit Organization

〒100-0014東京都千代田区永田町2-14-3 赤坂東急ビル5F
TEL.03-3500-1580 FAX.03-3500-1608 <http://www.nail.or.jp>

JNAジェルネイル技能検定試験 申込受付センター

TEL.03-3292-8561 (受付時間: 土日祝を除く
平日10時~17時)

※試験内容についてのご質問はご遠慮ください。

※当協会では試験内容に関するご質問は一切お受けいたしません。この要項を熟読してください。

※試験内容、スケジュール等は変更になる場合があります。受験票で確認してください。

※ホームページ上に検定試験Q&Aを掲載していますので確認してください。

※追記が発生した場合、随時ホームページ上で案内しますのでよく確認してください。

©2009 Japan Nailist Association Printed in Japan ※無断転載・複製を禁ず

2009.11.16

ネイリスト技能検定試験 受験者数/合格者数推移表

| | 1997年春 第1回 | 1997年秋 第2回 | 1998年春 第3回 | 1998年秋 第4回 | 1999年春 第5回 | 1999年秋 第6回 | 2000年春 第7回 | 2000年秋 第8回 |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1級受験者 | 98 | 148 | 187 | 291 | 361 | 385 | 498 | 550 |
| 合格者数 | 43 | 50 | 48 | 95 | 143 | 159 | 185 | 245 |
| 合格率 | 43.90% | 33.80% | 25.70% | 32.60% | 39.60% | 41.30% | 37.10% | 44.50% |
| 2級受験者 | 94 | 194 | 241 | 442 | 519 | 953 | 870 | 1,441 |
| 合格者数 | 65 | 115 | 146 | 201 | 272 | 415 | 435 | 817 |
| 合格率 | 69.10% | 59.30% | 60.60% | 45.50% | 52.40% | 43.50% | 50.00% | 56.70% |
| 3級受験者 | 97 | 168 | 183 | 835 | 989 | 1,762 | 1,632 | 3,603 |
| 合格者数 | 71 | 136 | 145 | 628 | 747 | 1,423 | 1,302 | 3,111 |
| 合格率 | 73.20% | 80.90% | 79.20% | 75.20% | 75.50% | 80.80% | 79.80% | 86.30% |
| 受験者数Total | 289 | 510 | 611 | 1,568 | 1,869 | 3,100 | 3,000 | 5,594 |
| 合格者数Total | 179 | 301 | 339 | 924 | 1,162 | 1,997 | 1,922 | 4,173 |
| 年別受験者数 | | 799 | | 2,179 | | 4,969 | | 8,594 |
| 年別合格者数 | | 480 | | 1,288 | | 3,159 | | 6,095 |
| | 2001年春 第9回 | 2001年秋 第10回 | 2002年春 第11回 | 2002年秋 第12回 | 2003年春 第13回 | 2003年秋 第14回 | 2004年春 第15回 | 2004年秋 第16回 |
| 1級受験者 | 669 | 903 | 1,045 | 1,487 | 1,720 | 2,270 | 2,485 | 3,109 |
| 合格者数 | 251 | 398 | 399 | 565 | 764 | 824 | 829 | 1,132 |
| 合格率 | 37.50% | 44.10% | 38.20% | 38.00% | 44.40% | 36.30% | 33.40% | 36.40% |
| 2級受験者 | 1,287 | 2,097 | 1,969 | 2,920 | 2,827 | 3,620 | 3,843 | 5,042 |
| 合格者数 | 637 | 1,019 | 889 | 1,286 | 1,132 | 1,468 | 1,493 | 2,211 |
| 合格率 | 49.50% | 48.60% | 45.10% | 44.00% | 40.00% | 40.60% | 38.80% | 43.80% |
| 3級受験者 | 1,293 | 4,308 | 2,499 | 5,630 | 2,965 | 9,171 | 3,822 | 11,040 |
| 合格者数 | 1,097 | 3,887 | 2,221 | 4,996 | 2,616 | 8,223 | 3,296 | 9,998 |
| 合格率 | 84.80% | 90.20% | 88.90% | 88.70% | 88.20% | 89.70% | 86.20% | 90.60% |
| 受験者数Total | 3,249 | 7,308 | 5,513 | 10,037 | 7,512 | 15,061 | 10,150 | 19,191 |
| 合格者数Total | 1,985 | 5,304 | 3,509 | 6,847 | 4,512 | 10,515 | 5,518 | 13,341 |
| 年別受験者数 | | 10,557 | | 18,530 | | 22,573 | | 29,341 |
| 年別合格者数 | | 7,289 | | 10,356 | | 15,027 | | 18,959 |
| | 2005年春 第17回 | 2005年秋 第18回 | 2006年春 第19回 | 2006年秋 第20回 | 2007年春 第21回 | 2007年秋 第22回 | 2008年春 第23回 | 2008年秋 第24回 |
| 1級受験者 | 1,866 | 2,438 | 2,761 | 3,138 | 3,406 | 3,739 | 4,125 | 3,884 |
| 合格者数 | 637 | 936 | 1,012 | 1,206 | 1,248 | 1,416 | 1,641 | 1,422 |
| 合格率 | 34.10% | 38.40% | 36.65% | 38.43% | 36.64% | 37.87% | 39.78% | 36.61% |
| 2級受験者 | 5,994 | 6,584 | 6,855 | 7,799 | 8,358 | 10,448 | 7,020 | 8,994 |
| 合格者数 | 2,172 | 2,393 | 2,588 | 3,034 | 2,966 | 3,969 | 2,539 | 3,540 |
| 合格率 | 36.20% | 36.30% | 37.75% | 38.90% | 35.48% | 37.99% | 36.17% | 39.36% |
| 3級受験者 | 3,583 | 11,996 | 4,221 | 13,320 | 4,795 | 14,333 | 9,526 | 16,796 |
| 合格者数 | 3,089 | 10,605 | 3,677 | 12,004 | 4,118 | 12,651 | 8,386 | 15,029 |
| 合格率 | 86.20% | 88.40% | 87.11% | 90.12% | 85.88% | 88.26% | 88.03% | 89.48% |
| 受験者数Total | 11,443 | 21,018 | 13,837 | 24,257 | 16,559 | 28,520 | 20,671 | 29,674 |
| 合格者数Total | 6,898 | 13,934 | 7,277 | 16,244 | 8,332 | 18,036 | 12,566 | 19,991 |
| 年別受験者数 | | 32,481 | | 38,094 | | 45,079 | | 50,345 |
| 年別合格者数 | | 19,832 | | 23,521 | | 26,366 | | 32,557 |
| | 2009年 春期 | 2009年 秋期 | | | | | | |
| 1級受験者 | 4,128 | 4,351 | | | | | | |
| 合格者数 | 1,466 | 1,766 | | | | | | |
| 合格率 | 35.51% | 40.60% | | | | | | |
| 2級受験者 | 9,356 | 10,078 | | | | | | |
| 合格者数 | 3,485 | 5,195 | | | | | | |
| 合格率 | 37.25% | 51.50% | | | | | | |
| 3級受験者 | 8,861 | 15,678 | | | | | | |
| 合格者数 | 7,646 | 13,731 | | | | | | |
| 合格率 | 86.29% | 87.58% | | | | | | |
| 受験者数Total | 22,345 | 30,107 | | | | | | |
| 合格者数Total | 12,597 | 20,692 | | | | | | |
| 年別受験者数 | | 52,452 | | | | | | |
| 年別合格者数 | | 36,289 | | | | | | |

| 第1回～ 09年秋期(26回)累計 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|----------------------|---------|---------|--------|
| 1 級 | 50,042 | 18,880 | 37.73% |
| 2 級 | 109,845 | 44,482 | 40.50% |
| 3 級 | 153,106 | 134,833 | 88.07% |
| Total | 312,993 | 198,195 | 63.22% |

ネイル白書

2008-9

ネイル市場マーケティングリサーチレポート

2. 市場規模推移

1) 市場全体の概要

ネイル産業全体の売上は、2007年実績で1,607億円となっている。2008年には1,995億円に達する見込みとなっており、ネイル産業は“2,000億円産業”といえるまでに成長してきている。2005年には1,114億円余りの市場規模であったので、わずか3年で2倍近い規模と急速な拡大となっている。

2007年は前年比124.4%、2008年は前年比124.1%になると見込まれており、引き続き順調な拡大を続けている。

なお、分野別の市場規模の推移をみると、ネイルサービス市場の伸びが大きくなっており、現在のネイル産業で中心的な役割を担っている。

2) 市場分野別の概要

①ネイルサービス市場

ネイルサービス市場は、2005年には428億円であったが、2007年には914億円となり、2008年には1,295億円になると見込まれている。これはネイルサービス市場の中でも大きな割合を占めるネイルサロンにおいて積極的な出店が続いており、それにとまって売上も増加していることが市場拡大の大きな要因となっている。

これまでの積極的な出店によって一部の地域でやや過当競争との見方が出てきてはいるものの、地方都市などではネイルサロンの出店余地はまだ大きいことに加え、ヘアサロンやエステティックサロンなどにおけるサービスも広がりを見せてきたことなどもあり、現在のところ順調な拡大基調となっている。2008年についても引き続き積極的な出店が続いている。2008年には景気の減速が鮮明になってきたことから慎重な見方をする関係者がいるものの、ほぼ前年並みの伸張が見込まれている。

②消費者向けネイル製品市場

消費者向けネイル製品市場は微減あるいはほぼ横ばいで推移しており、2007年には590億円となっている。消費者向けネイル製品市場では、化粧品の一部としてのネイルカラー（ポリッシュ）が、主力商品として大きな割合を占めてきたが、低価格品の販売が増えたことなどによって近年の売上は減少傾向であり、消費者向けネイル製品市場全体にも影響を与えている。一方では、ネイルアートへの関心が高まりを見せている中で、ネイル専門誌などの最新情報により、セルフケアについては大きな伸びがみられる。ネイルケア用品、アート用品などは順調に売上を伸ばしている。またジェルネイルなどプロ仕様の製品が消費者市場にも流入されつつあり、市場の活性化につながっている。今後は旧来のネイルカラーが減少する一方、これらの新しい製品の増加が期待されている。

なおネイル製品市場のうち、業務用ルートの売上高は、ネイルサービス市場、ネイル教育市場の仕入れとして、これらの市場の売上に含まれるため、ネイル産業全体の規模算出に含めていないが、ネイルサービス市場の拡大にとまって順調に売上を伸ばしていくと推定される。その中でもジェルネイルの増加が大きいと予想されている。

③ネイル教育市場

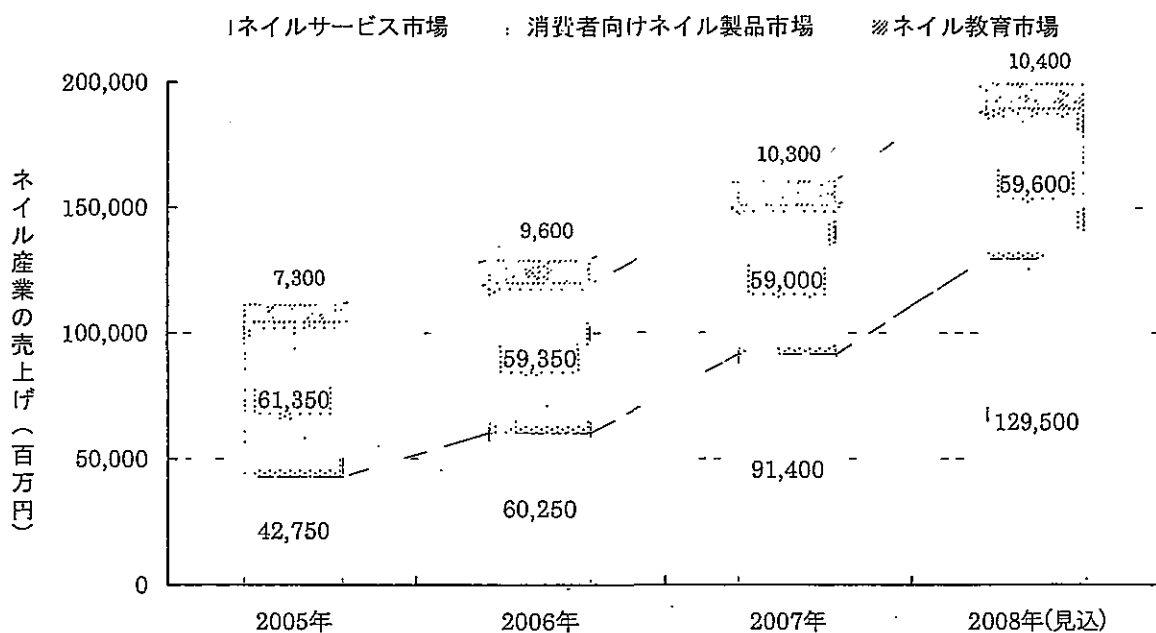
ネイル産業が社会的認知を受ける中で、ネイリスト（ネイル技術者）も職業のひとつとして認知されてきた。その中でネイリストを養成するネイルスクールなどへのニーズも高まり、ネイル教育市場は順調な伸びを見せてきた。

しかしながら、職業としてのネイリストを目指す生徒に加えて職業ネイリストが新しい技術を得るための専門講座を受講するなどの多様化が進んでいることから 2007 年からは横ばいから微増で推移するものと思われる。これには少子化の影響も大きくなっており、大幅な増加に転じる可能性は低いものと推定される。

<分野別販売金額と前年比>

| 業態・業種 | 2005年 | | 2006年 | | | 2007年 | | | 2008年(見込) | | |
|--------------|---------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前年比 | 金額 | 構成比 | 前年比 | 金額 | 構成比 | 前年比 |
| ネイルサービス市場 | 42,750 | 38.4 | 60,250 | 46.6 | 140.9 | 91,400 | 56.9 | 151.7 | 129,500 | 64.9 | 141.7 |
| 消費者向けネイル製品市場 | 61,350 | 55.1 | 59,350 | 45.9 | 96.7 | 59,000 | 36.7 | 99.4 | 59,600 | 29.9 | 101.0 |
| ネイル教育市場 | 7,300 | 6.6 | 9,600 | 7.4 | 131.5 | 10,300 | 6.4 | 107.3 | 10,400 | 5.2 | 101.0 |
| 合計 | 111,400 | 100.0 | 129,200 | 100.0 | 116.0 | 160,700 | 100.0 | 124.4 | 199,500 | 100.0 | 124.1 |

※消費者向けネイル製品市場は末端ベース



5) ネイル産業の就業人口

ネイル産業の就業者数は、2007年実績で44,740人と推計される*。全体の90.5%はネイルサービス市場の就業者であり、特にネイルサロンの就業者は35,000人と推定され、全体の78.2%と多くの割合を占めている。ネイル製品市場の就業者は2,110人で全就業者の4.7%、ネイル教育市場の就業者は2,130人で全就業者の4.8%を占めると推定される。

今後については、人的資本への依存度が高いネイルサービス産業の伸びが続くと予測されることから、ネイルサービス市場の就業者数の増加が予想される。そのため、ネイルサービス市場の就業者が今後も高い割合を占めると推測できる。

<ネイル産業の就業者数 (2007年)>

| 市場分野 | | 就業人口 | |
|-----------|-------------|----------|---------|
| | | 就業者数 (人) | 構成比 (%) |
| ネイルサービス市場 | ネイルサロン | 35,000 | 78.2 |
| | その他 | 5,500 | 12.3 |
| | ネイルサービス市場小計 | 40,500 | 90.5 |
| ネイル製品市場 | 業務用製品市場 | 980 | 2.2 |
| | 消費者向け製品市場 | 1,130 | 2.5 |
| | ネイル製品市場小計 | 2,110 | 4.7 |
| ネイル教育市場 | 専門校 | 850 | 1.9 |
| | 美容学校・その他 | 1,280 | 2.9 |
| | ネイル教育市場小計 | 2,130 | 4.8 |
| ネイル市場合計 | | 44,740 | 100.0 |

*推計上の注意は以下のとおり。

1. 短時間の就業者については8時間に換算した値を利用している。例えば1日平均でネイリストとして6時間、ネイルスクールの講師として2時間働いている場合は、ネイルサービス市場で0.75人、ネイル教育市場で0.25時間就業と推計している。
2. 複数の業務を行っており、勤務時間での推計が困難な場合には、売上高など合理的な方法によって按分して推計をしている。
3. ネイル製品市場のうち消費者向け製品市場については化粧品メーカーの就業者を基本とし、流通業を含まないものとしている。また、推計に当たってはアンケートおよび訪問面接調査の結果に加え、化粧品大手メーカーの公開データを加味して算出している。

2. 市場規模推移

1) 業態・業種別施設数推移

ネイルサービスを施術する施設としては、ネイルサロンをはじめとしてヘアサロン（理容室・美容院）、エステティックサロンやスパ施設などを含むその他が挙げられる。

2007年における日本国内での施設総数は11,350店に達しており、2008年には14,500店と15,000店近くまで増えると推定される。

施設数の内訳を2007年の段階で見ると、ネイルサロンが6,550店、ヘアサロンが2,800店、その他の施設で2,000店となっている。2005年からの推移をみると、需要の高まりとともに新規出店が相次いだことからネイルサロンの店舗数が最も高い伸びを示している。

今後の施設数についても順調な増加を続けると予測される。ただし、今後は新規出店だけではなく移転やリニューアルなどを行う施設が増加することや、エリアによっては飽和に近い状態になる可能性もある。

①ネイルサロン

ネイルサロンは、ネイルサービスの専門店として需要が拡大しており、新規出店が増えている。ネイルサロンは比較的新しいサービス施設であることから、若年層が多く流行に敏感な都市部から出店が進んできたが、都市部を中心として地方へも拡大しつつある。

また店舗の形態もサロンの形態だけではなく、ショッピングセンターの一部コーナーなどへの出店をはじめとして多様化が進んでいる。

このように、ネイルサロンは本格的なサロンから買い物などのついでに気楽に寄れるようなカジュアルな店舗まで裾野が広がっており、店舗数は拡大を続けている。

②ヘアサロン

ヘアサロンはもっとも身近な美容サービスを提供する施設であり、全国各地に店舗が存在している。その中でネイルサービスを提供するヘアサロンは年々増加している。

ヘアサロンがサービスの充実のためにネイルサービスを取り入れていることに加え、卸売業によるネイル関連の製品の販売推進と技術面でのサポートなどの環境整備が進んできたことも見逃せない重要な要素といえよう。

このような環境面の充実はここ数年進んでおり、これからその効果が現れてくると考えられる。さらに、技術的に比較的容易であり、臭いの問題も少ないジェルネイルの普及によって、ネイルサービスの提供を模索している店舗への導入が進む可能性がある。ヘアサロンは数が多いだけに今後の動向が注目されている。

③その他

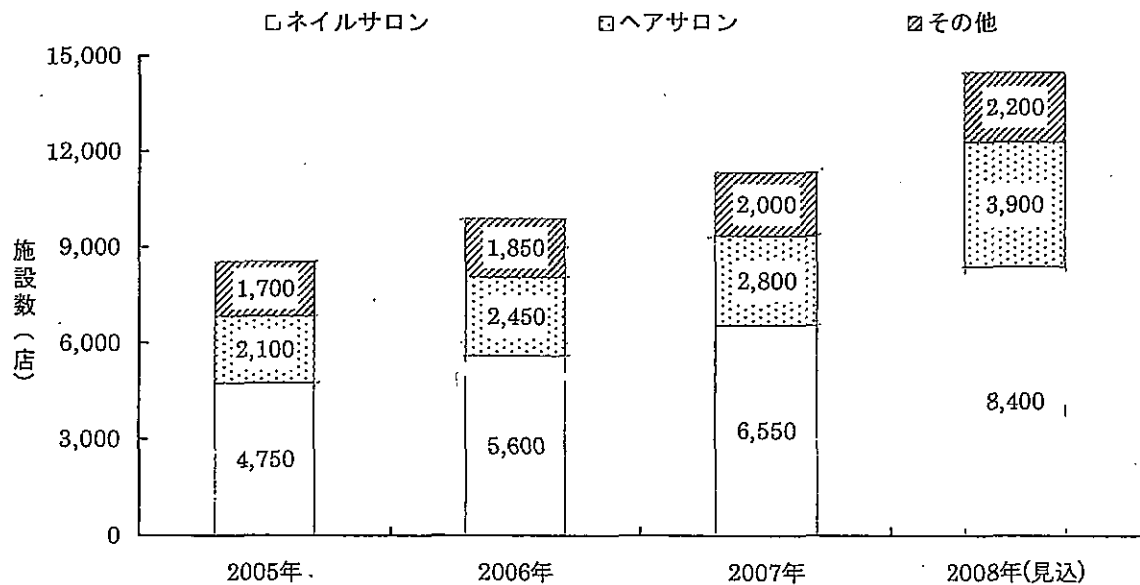
エステティックサロンは、美容の総合サービス化の中でネイルサービスの取り込みをはかっており、ネイルを提供する施設は増えてきている。

ブライダルサロンも総合的なサービスを提供しているネイルの導入が進んできた。また、スパ施設でも導入は進んでいる。しかしながら、これらの業態はもともとの店舗数が限られていることもあつ

て、ネイルサービス提供施設は順調に増えてはいるものの、市場における割合は減少傾向となってきた。今後もこの傾向は変わらないと考えられる。

<業態・業種別施設数推移>

| 業態・業種 | 2005年 | | 2006年 | | | 2007年 | | | 2008年(見込) | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 施設数 | 構成比 | 施設数 | 構成比 | 前年比 | 施設数 | 構成比 | 前年比 | 施設数 | 構成比 | 前年比 |
| ネイルサロン | 4,750 | 55.6 | 5,600 | 56.6 | 117.9 | 6,550 | 57.7 | 117.0 | 8,400 | 57.9 | 128.2 |
| ヘアサロン | 2,100 | 24.6 | 2,450 | 24.7 | 116.7 | 2,800 | 24.7 | 114.3 | 3,900 | 26.9 | 139.3 |
| その他 | 1,700 | 19.9 | 1,850 | 18.7 | 108.8 | 2,000 | 17.6 | 108.1 | 2,200 | 15.2 | 110.0 |
| 合計 | 8,550 | 100.0 | 9,900 | 100.0 | 115.8 | 11,350 | 100.0 | 114.6 | 14,500 | 100.0 | 127.8 |



2) 業態・業種別販売実績推移

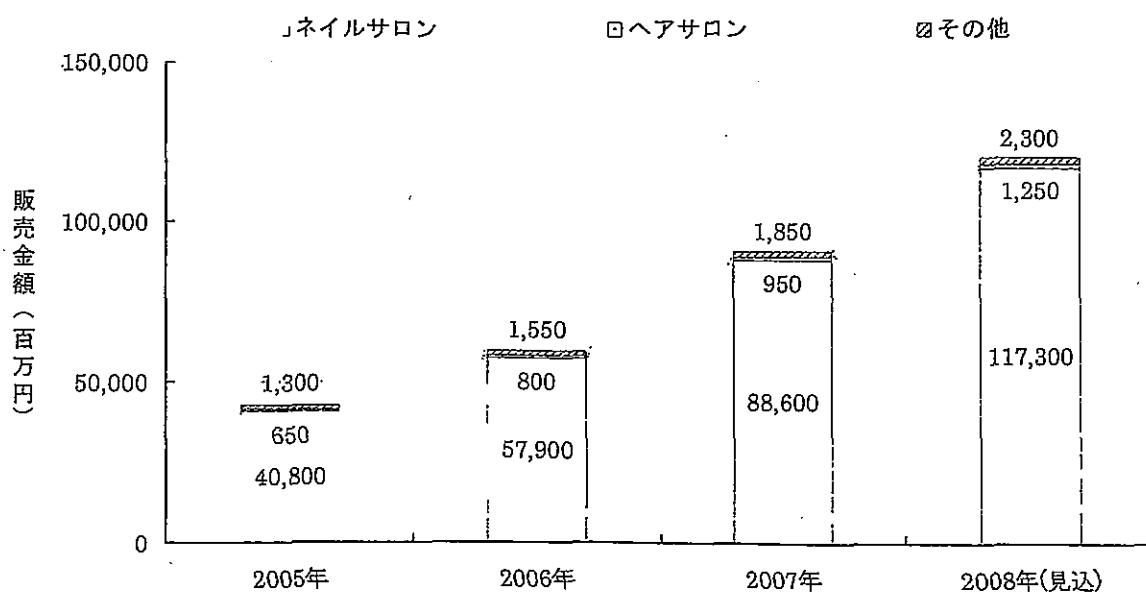
ネイルサービスの市場規模は2007年で914億円と推計され、前年比151.7%と高い伸張傾向を示している。特に施設数の増加率では前年比が115%程度であることを考えると、各施設ベースの売上増が顕著に表れていると言える。

2008年は1,295億円に達すると推計されている。前年比141.7%という伸張率は、2007年と比較するとやや低く感じられるが、2006年の実績とほぼ同じであり、順調な拡大が続くと推測できる。

2009年以降も店舗数の増加を受けて今後も順調な成長が見込まれる。また、ネイルサービスに対する需要の高まりは今後も続くものと考えられ、各施設における集客力が高まることで市場規模は施設数以上の伸張傾向となると見られる。一方で、施設数の増加とともに他店との競合環境がさらに激化していくと考えられている中で、既にサービス料の低価格化も進んでおり、収益性が課題となる可能性も指摘されている。

<業態・業種別販売実績推移>

| 年次 業態・業種 | 2005年 | | 2006年 | | | 2007年 | | | 2008年(見込) | | |
|-------------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 販売金額 | 構成比 | 販売金額 | 構成比 | 前年比 | 販売金額 | 構成比 | 前年比 | 販売金額 | 構成比 | 前年比 |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 百万円 | % | % | 百万円 | % | % |
| ネイルサロン | 40,800 | 95.4 | 57,900 | 96.1 | 141.9 | 88,600 | 96.9 | 153.0 | 125,700 | 97.1 | 141.9 |
| ヘアサロン | 650 | 1.5 | 800 | 1.3 | 123.1 | 950 | 1.0 | 118.8 | 1,500 | 1.2 | 157.9 |
| その他 | 1,300 | 3.0 | 1,550 | 2.6 | 119.2 | 1,850 | 2.0 | 119.4 | 2,300 | 1.8 | 124.3 |
| 合計 | 42,750 | 100.0 | 60,250 | 100.0 | 140.9 | 91,400 | 100.0 | 151.7 | 129,500 | 100.0 | 141.7 |



3) エリア特性

ネイルサービス市場は東京/大阪/名古屋を含む3エリアでの売上が大きく、全体の40%近くを関東エリア、約25%を近畿エリア、約20%を中部エリアが占めている。この3エリアを合計すると、全国の約85%となっている。この地域はネイルの普及によって競争も激しくなっており、出店競争が加速していることから2007年にはいずれも前年比150%を超える出店がみられた。

既に数多くの施設を有する主要3エリアは一部では近く市場が飽和するという観測もある。これに対して地方都市にはまだ新規出店の余地が多く残されており、新たな需要を掘り起こすことで市場の伸び率で東京/大阪/名古屋を上回る可能性は充分あるといえよう。しかしながら、短期的競争の激しい主要3エリアが今後とも中心的な地位を占めていくと考えられる。

①北海道エリア

北海道は2007年で26億円の売上で、全国の2.8%を占めている。札幌市を中心としてネイルサロンをはじめとするネイルサービスを提供する施設が多くなっている。

②東北エリア

2007年で23億円の売上で、全国の2.5%を占めている。ネイルサービスを提供する施設が多いのは仙台市をはじめとする大都市であるが、大都市中心部においても出店の余地はあり、さらに中小都市を含めれば今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

③関東エリア

2007年の売上は350億円以上で、全国の39.0%を占めるもっとも大きな市場を持つエリアとなっている。東京を中心に大都市が多く、ネイルサロンのみならず、さまざまな形態のネイルサービスを提供する施設が多い。東京でも山手線沿線のターミナル駅では競争の激化により出店が増える一方で淘汰が進む可能性も指摘されている。

周辺の都市では、堅調な出店が進むと考えられることから、関東エリア全体としては、順調な伸びを示すと考えられ、今後とも大きな割合を占めていくと推定できる。

④中部エリア

2007年の売上は183億円で、全国の20.0%を占めている。ネイルサロンが多いのは名古屋市であるが、浜松市、静岡市、新潟市など政令市での出店の余地も大きく、今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

⑤近畿エリア

2007年の売上で242億円となっており、全国の26.5%を占め、関東エリアに次ぐ市場規模となっている。関東エリア同様、大阪市の中心部では競争の激化により出店が増える一方で淘汰が進む可能性もある。

周辺の都市では、堅調な出店が進むと考えられることから、近畿エリア全体としては、順調な伸びを示すと考えられ、今後とも関東に次ぐ大きな割合を占めていくと考えられる。

⑥中国・四国エリア

2007年の売上は37億円で、全国の4.0%を占めている。ネイルサロンが多いのは広島市などの大都市であるが、瀬戸内地方を中心に都市が点在しており、出店の余地も大きい。今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

⑦九州・沖縄エリア

2007年の売上は47億円で、全国の5.1%を占めている。ネイルサロンが多いのは福岡市であるが、まだ出店の余地は大きい。他の都市を含めて今後とも堅調な出店が進むと考えられる。

<エリア別販売実績推移>

| 年次 エリア | 2005年 | | 2006年 | | | 2007年 | | | 2008年(見込) | | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 販売金額 | 構成比 | 販売金額 | 構成比 | 前年比 | 販売金額 | 構成比 | 前年比 | 販売金額 | 構成比 | 前年比 |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 百万円 | % | % | 百万円 | % | % |
| 北海道 | 1,250 | 2.9 | 1,750 | 2.9 | 140.0 | 2,600 | 2.8 | 148.6 | 3,650 | 2.8 | 140.4 |
| 東北 | 1,150 | 2.7 | 1,550 | 2.6 | 134.8 | 2,300 | 2.5 | 148.4 | 3,200 | 2.5 | 139.1 |
| 関東 | 16,450 | 38.5 | 23,350 | 38.8 | 141.9 | 35,650 | 39.0 | 152.7 | 50,700 | 39.2 | 142.2 |
| 中部 | 8,600 | 20.1 | 12,100 | 20.1 | 140.7 | 18,300 | 20.0 | 151.2 | 25,900 | 20.0 | 141.5 |
| 近畿 | 11,300 | 26.4 | 15,900 | 26.4 | 140.7 | 24,200 | 26.5 | 152.2 | 34,400 | 26.6 | 142.1 |
| 中国・四国 | 1,800 | 4.2 | 2,450 | 4.1 | 136.1 | 3,650 | 4.0 | 149.0 | 5,100 | 3.9 | 139.7 |
| 九州・沖縄 | 2,200 | 5.1 | 3,150 | 5.2 | 143.2 | 4,700 | 5.1 | 149.2 | 6,550 | 5.1 | 139.4 |
| 合計 | 42,750 | 100.0 | 60,250 | 100.0 | 140.9 | 91,400 | 100.0 | 151.7 | 129,500 | 100.0 | 141.7 |